



大学見本市 2024 Innovation Japan

開催結果報告書



東京ビッグサイト

南展示棟 南1ホール

8/22^木 23^金

[10:00-17:00]

併催事業



「大学発ベンチャー表彰2024」
～Award for Academic Startups～

主催



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

共催： 文部科学省

後援：公益社団法人経済同友会、独立行政法人工業所有権情報・研修館、独立行政法人国際協力機構、
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、
東京商工会議所、特許庁、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所（50音順）

■ 1. 開催概要	
1-1. 開催概要	-----04
1-2. 開催結果	-----06
■ 2. 出展者一覧	
2-1.大学等シーズ展示 出展者一覧（カーボンニュートラル・環境）	-----08
2-2.大学等シーズ展示 出展者一覧（食料・農林水産）	-----11
2-3.大学等シーズ展示 出展者一覧（健康・医療）	-----12
2-4.大学等シーズ展示 出展者一覧（情報通信）	-----16
2-5.大学等シーズ展示 出展者一覧（インフラ・安全・社会基盤）	-----18
2-6. JST・後援機関展示 出展者一覧	-----19
■ 3.出展研究者プレゼンテーション・セミナー	
3-1.プログラム	-----21
3-2.出展研究者ショートプレゼンテーションプログラム	-----22
3-3.セミナー	-----26
■ 4.来場者属性調査結果	
4-1.来場者属性 調査結果	-----29
■ 5.来場者アンケート調査結果	
5-1.来場者アンケート 調査結果	-----34
■ 6.出展者アンケート調査結果	
6-1.出展者アンケート 調査結果	-----36
■ 7.広報活動	
7-1.広告	-----39
■ 8.公式サイト	
8-1.公式サイト	-----41
■ 9.制作物	
9-1.開催案内DM	-----55
9-2.ポスター	-----56
9-3.公式ガイドブック	-----57
9-4.会場配布物	-----60
■ 10.記録写真	
10.記録写真	-----63

名称 大学見本市2024～イノベーション・ジャパン

日程 8月22日(木)・23日(金) 10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト 南展示棟 南1ホール
東京都江東区有明3丁目11番1

主催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

共催 文部科学省

後援 公益社団法人経済同友会(同友会)
独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)
独立行政法人国際協力機構(JICA)
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構)
東京商工会議所
特許庁
一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)
日本商工会議所 (50音順)

出展者

大学等シーズ展示	281件
カーボンニュートラル・環境	78件
健康・医療	107件
食料・農林水産	26件
情報通信	44件
インフラ・安全・社会基盤	26件
JST・後援機関展示	29件
後援機関展示	4件
JST事業展示	6件
JST採択課題出展	19件
合計	310件

出展研究者ショートプレゼンテーション

開催数 144件 (A・B 2会場、2日間合計)

会場MAP



	8月22日 (水)	8月23日 (金)	合計
天気	曇一時雨	曇のち晴	—
来場者数	5,606	5,395	11,001
セミナー 聴講者数	347	509	856
出展研究者 ショートプレゼンテーション 聴講者数	1,593	1,433	3,026

2-1.大学等シーズ展示 出展者一覧 (カーボンニュートラル・環境)

カーボンニュートラル・環境

(1 / 3)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
C-001	九州大学	稲葉 優文	樹脂中で粒子を電氣的に並べる技術で放熱問題に挑む
C-002	九州大学	藪田 久人	レーザー照射によるプラスチック上セラミックス膜形成・高機能化
C-003	秋田大学	高橋 翔太郎	インバータの入出力ノイズを99%低減するノイズキャンセル装置
C-004	東京工芸大学	崔 通	DCマイクログリッド用高昇圧コンバータ
C-005	筑波大学	萬年 智介	ゲートドライバ不要な半導体ハイブリッド遮断器
C-006	大阪公立大学	高橋 和	小型人工衛星用のフォトニック電位センサ
C-007	神戸大学	三島 智和	超高効率オフグリッドEVバッテリー充電装置
C-008	高知工科大学	池上 浩	光・量子を活用した産学官共創社会実装拠点の紹介
C-009	法政大学	岡本 吉史	永久磁石磁化状態の非破壊推定-基礎研究から社会実装研究まで-
C-010	千葉大学	小岩 健太	再生可能エネルギー発電のための次世代電力変換器の開発
C-011	岐阜大学	八田 禎之	低損失及び高推力/トルク密度を実現する直動/回転モータの開発
C-012	法政大学	相原 建人	高効率・低減速比でもセルフロックするロッキングギヤ開発
C-013	東北大学	廣田 真	表面をデコボコにして流れをきれいに保つデバイス
C-014	上智大学	竹岡 裕子	ペロブスカイト太陽電池の可能性を拓く新材料
C-015	佐賀大学	富永 昌人	ユーザーフレンドリーなスティック型微生物燃料電池の開発
C-016	京都先端科学大学	堂前 伸一	EVエネルギー効率分析システム
C-017	自然科学研究機構核融合科学研究所	平野 直樹	先進的な高効率冷凍システムと急速冷却技術
C-018	長岡技術科学大学	佐藤 靖徳	未来への一歩：地産地消型マイクロ風力発電の進化
C-019	山口大学	喜多條 鮎子	高出力型定置用水系ナトリウムイオン電池用材料
C-020	横浜国立大学	大竹 充	磁気コアを活用した電磁誘導型振動発電デバイス
C-021	宮崎大学	奥山 勇治	微生物水素製造とプロトン伝導性セラミックを用いた純水素分離
C-022	兵庫県立大学	伊藤 省吾	超耐久型水素燃料電池触媒の研究開発
C-023	東京工業大学	春本 高志	金属細線1本による水素センシング
C-024	北陸先端科学技術大学院大学	松見 紀佳	高容量な急速充電用電池を実現する負極活物質
C-025	東京工業大学	八島 正知	高プロトン・酸化物イオン伝導体：高性能固体燃料電池へ
C-026	琉球大学	安田 啓太	ハイブリッド自動車のバッテリー-高効率冷却
C-027	山梨大学	武田 哲明	浅層地中熱利用型空調・給湯ヒートポンプの開発と実証
C-028	奈良女子大学	本田 裕樹	光増感剤と生体触媒から成るバイオ複合系での水素生産
C-029	静岡理工科大学	黒瀬 隆	貝殻真珠層を模倣した軽量複合材料
C-030	大阪工業大学	羽賀 俊雄	アルミニウム合金ワイヤーハーネス用素線の格安作製方法
C-031	法政大学	明石 孝也	パルス放電噴流床 ～コークスを使わない新規乾式製鉄法～
C-032	岡山大学	山口 大介	前処理・接着剤フリー！スーパーエンブラ用レーザ溶着
C-033	自然科学研究機構核融合科学研究所	時谷 政行	先進的接合技術 (1)銅系材料の接合、(2)光学材料の接合
C-034	芝浦工業大学	石崎 貴裕	革新的な環境に優しい軽金属への防食技術と高機能性材料創製技術
C-035	九州工業大学	宇佐美 雄生	印加圧力を学習可能なスポンジ型触覚センサ

カーボンニュートラル・環境

(2 / 3)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
C-036	大阪大学	小澤 隆弘	特異な細孔構造を持つ多孔質セラミックスによるナノ粒子捕集
C-037	名古屋大学	原田 俊太	スペクトル超解像によるX線光電子分光測定の高速度化
C-038	兵庫県立大学	田中 一平	複雑立体形状に対応したダイヤモンドコーティング技術の開発
C-039	弘前大学	峯田 才寛	超軽量マグネシウム合金の強靱化
C-040	熊本大学	河村 能人	革新的マルチ機能を有するマグネシウム合金の開発
C-041	大阪大学	松田 朋己	パワー半導体低温実装を実現する通電支援焼結接合技術
C-042	千葉大学	津田 哲哉	ワンポット合成で様々な金属ナノ粒子担持炭素材料が創れます！
C-043	宇都宮大学	奈須野 恵理	微生物を活用したホルマリン含有排水の高速無毒化技術
C-044	北九州工業高等専門学校	谷口 茂	組成物の物性を高精度に予測可能な機械学習モデルの構築について
C-045	広島大学	森山 教洋	煙道ガスからの水蒸気回収膜：純水と廃熱の回収が可能に
C-046	弘前大学	園木 和典	非可食バイオマスから芳香族ポリマー原料をつくる技術
C-047	秋田大学	趙 旭	低コストで再利用できる光電場増強基板
C-048	立命館大学	山根 大輔	環境発電等に期待！MEMS-エレクトレット集積化技術
C-049	信州大学	酒井 俊郎	超音波を用いたシンプル&ケミカルフリー金属コーティング
C-050	関西大学	川崎 英也	先進粉末！液体金属の高機能化：熱・電導と触媒
C-051	横浜市立大学	橋 勝	天然物からカーボン量子ドットを簡便に合成する方法
C-052	京都先端科学大学	生津 資大	目に見えない材料の変形と破壊を可視化する卓越実験技術
C-053	富山県立大学	水野 斎	サイズ依存発光特性を示す有機ナノ結晶を用いた塗布型有機EL素子
C-054	東京農工大学	田中 正樹	自由度が高い機能性有機材料を用いた自発極形成技術
C-055	室蘭工業大学	馬渡 康輝	温めると濁り冷やすと透明になる温度応答水溶液の開発とその応用
C-056	九州工業大学	吉田 嘉晃	自己修復とケミカルリサイクルがともに可能な光学樹脂の開発
C-057	山口大学	岡本 浩明	チキソトロピー性を付与する非水素結合性低分子ゲル化剤の開発
C-058	大阪公立大学	渋谷 昌弘	金属ナノ構造と量子ドットの融合による光機能の産業応用
C-059	東京理科大学	本田 正義	二酸化炭素からプラスチックを作る
C-060	神戸学院大学	村上 遼	アミン系高分子による海洋直接回収技術
C-061	信州大学	高坂 泰弘	高速結合交換で実現する易分解性樹脂&ビトリマー性エラストマー
C-062	信州大学	野口 徹	セルロースナノファイバーを用いたナノコンポジットの高機能化
C-063	弘前大学	竹内 大介	重合製膜による超高分子量ポリエチレン製シートの直接的製造
C-064	九州大学	松本 泰弘	木質バイオマスからのグリーン水素及びグリーンメタノール合成
C-065	長岡技術科学大学	高橋 由紀子	微粒子汚染検出のためのタッチテスト
C-066	埼玉大学	柳瀬 郁夫	安全安価な白色系無機固体による空気からのCO2回収
C-067	新潟大学	渡邊 美寿貴	環境に優しい耐久性の優れた新しい青緑色顔料
C-068	関西大学	田中 俊輔	ゼオライト新章。シン・ゼオライトの機能・作り方・使い方
C-069	富山高専専門学校	間中 淳	スマートフォンと試験紙で簡易かつ高性能な測定技術
C-070	東京都立大学	朝野 維起	昆虫外骨格を模した新規マテリアル＝「人工外骨格」

カーボンニュートラル・環境

(3 / 3)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
C-071	大阪公立大学	藤枝 伸宇	超集積細胞を用いた海水からタングステンの分離回収法
C-072	法政大学	山本 兼由	新規ゲノム編集法で創出したパラジウムを蓄積する細菌
C-073	長崎大学	大嶺 聖	被災地でも活用できる廃棄物利用多目的・高機能炭化装置
C-074	鳥取大学	高部 祐剛	国内資源循環への貢献を目的とした下水中リン回収技術
C-075	工学院大学	坂本 哲夫	PM2.5粒子の同位体識別個別粒子イメージング分析装置
C-076	埼玉大学	堤田 成政	車載カメラからランドスケープの変化を検出する
C-077	琉球大学	滝本 大裕	ナノ空間工学による浄水技術
C-078	名城大学	奥村 裕紀	画像形状分析に利用可能な中心線簡易検出アルゴリズム

食料・農林水産

(1 / 1)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
F-001	静岡大学	峰野 博史	環境データとNIR/VRによるイチゴの光合成・蒸発散速度推定
F-002	長崎大学	小林 透	養殖漁業の全自動化を実現するAI給餌判定システム
F-003	熊本高等専門学校	湯治 準一郎	イカ栗と栗の実を同時に拾う回転式栗収穫機
F-004	埼玉工業大学	長谷 亜蘭	食品の声を聴く“AEセンシング”を活用した食感分析の新展開
F-005	香川大学	下川 房男	植物生体情報センサシステムの社会実装の実現に向けて
F-006	法政大学	渡邊 雄二郎	ジオマテリアルを用いた水循環植物生育システムの開発
F-007	福井大学	内村 智博	香り・エマルションのリアルタイム分析
F-008	滋賀県立大学	杉浦 省三	骨なし魚の養殖
F-009	岡山県立大学	伊東 秀之	機能的表示食品届出に必要な機能性関与成分の特定および定量
F-010	奈良先端科学技術大学院大学	中瀬 由起子	香辛料によりアルコール発酵をデザインする技術の開発
F-011	東海大学	清水 宗茂	マイクロプラスチックを体外排泄する食餌材料
F-012	岩手大学	袁 春紅	カキの活力・鮮度を迅速かつ非破壊で行う装置
F-013	北見工業大学	浪越 毅	ポリマーコーティング種子による発芽時期の制御技術の開発
F-014	三重大学	福島 崇志	植物の構造を評価するバイオスペクル解析
F-015	日本大学	窪田 聡	施設園芸の脱炭素化に貢献する蓄熱型根域環境制御装置
F-016	広島大学	富永 淳	植物版心電図(ウェアラブルデバイス開発)
F-017	島根大学	赤間 一仁	ゲノム編集でGABAを増量したイネは環境ストレスに強い！
F-018	大阪工業大学	加賀田 翔	サーモグラフィによる土壌有機物含有量の定量的計測
F-019	兵庫県立大学	岡 好浩	農作物の病害防除のための安心・安全な抗菌水
F-020	奈良先端科学技術大学院大学	和田 七夕子	自殖稔性および種子サイズ操作によるナタネ新品種の開発
F-021	龍谷大学	森泉 美穂子	難溶性リンの土壌回収樹脂の性能評価と利用
F-022	新潟大学	伊藤 紀美子	作物の収量・品質向上を目指したきご麩菌床の農業資材化
F-023	佐賀大学	池上 康之	海藻によるCO2固定と有価物生産の同時実現
F-024	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所	小出 剛	ロイテリ菌による動物の社会性・従順性・情動性の安定性制御技術
F-025	産業医科大学	梅原 敬弘	牛の初期乳房炎や心血管疾患リスクの簡便な迅速診断方法
F-026	宮崎大学	関口 敏	動物用瞬間採血装置

健康・医療

(1 / 4)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
H-001	岡山大学	深野 秀樹	光温度センサを集積した新しいファイバブローレーザ加熱治療器
H-002	法政大学	安田 彰	小型・高精度ウェアラブル非侵襲血糖値センサ
H-003	宇都宮大学	伊藤 聡志	ホログラフィの原理を導入した同時多断面撮像法
H-004	工学院大学	田中 久弥	耳脳波を日常計測できる電極
H-005	中央大学	新妻 実保子	犬と親しむ過程を楽しめるVRアニマルセラピー
H-006	国士舘大学	神野 誠	ロボ・メカ技術で医療従事者をやさしく支援
H-007	東北大学	佐藤 岳彦	わずかな水だけで濡らさずに低温で洗浄・殺菌する技術
H-008	中央大学	中村 太郎	VR空間を移動可能な全身力触覚提示システム
H-009	東京電機大学	平栗 健二	衛生的に安心な抗ウイルス・抗菌加工処理
H-010	東京農工大学	中澤 靖元	医療応用を可能とする高機能化シルク複合化材料
H-011	奈良先端科学技術大学院大学	網代 広治	純アガロースナノファイバー
H-012	広島大学	舟橋 久景	スプレー&撮影！固体表面核酸のスマホイメージング
H-013	京都工芸繊維大学	吉田 裕美	電解質濃度を利用したリボソームにおける薬剤の濃縮・放出
H-014	岐阜大学	竹森 洋	細胞外小胞の薬物送達システムへの応用
H-015	大阪大学	小野 堯生	病原体のその場検出を可能にする小型グラフェンバイオセンサー
H-016	中部大学	新谷 正嶺	電子顕微鏡ライブイメージング法の開発
H-017	広島市立大学	長谷川 義大	MEMS流量センサを用いた生体の呼吸計測
H-018	関西学院大学	田和 圭子	ナノホール構造を用いた高感度免疫センサー
H-019	九州工業大学	坂本 憲児	医療・ヘルスケア向け体液（血液・唾液等）粘度測定装置
H-020	滋賀県立大学	秋山 毅	高感度ラマン散乱分析の実用化を加速する銀ナノ材料
H-021	兵庫県立大学	住友 弘二	巨大ベシクル内に表面増強ラマンを用いたバイオセンサー
H-022	兵庫県立大学	鈴木 雅登	手のひらサイズの細胞検査、回してわかる細胞の種類・状態
H-023	東京工業大学	金 俊完	ラボ・オン・チップに搭載できるマイクロポンプ
H-024	徳島大学	矢野 隆章	超早期疾病予測のための高感度光バイオセンサー
H-025	和歌山大学	最田 裕介	複数の合焦位置違いの単一撮像と定量相イメージング
H-026	岐阜大学	武野 明義	すぼんじへあ -毛髪を多孔化しハヤケアを変える-
H-027	九州産業大学	磯部 信一郎	強靱な蛍光色素の開発とアプリケーションの紹介
H-028	北里大学	内山 洋介	生体内の酸素濃度勾配を3D画像化するための緑色蛍光法
H-029	東京農工大学	赤木 友紀	生体にやさしい近赤外光で蛍光を発するゲル
H-030	日本大学	嶋田 修之	効率性と環境調和性を兼ね揃えたアミドとペプチドの化学合成
H-031	群馬大学	柴田 孝之	微小環境のpHを測定できる蛍光色素
H-032	関西大学	大矢 裕一	分子の絡み合いからなる新しいヒドロゲル材料
H-033	大阪公立大学	椎木 弘	新しい微生物検査法の開拓
H-034	大阪公立大学	遠藤 達郎	スマートナノセンシングフィルムで疾病・ウイルスを可視化する！
H-035	甲南大学	三好 大輔	核酸の特殊な構造を狙った新しい創薬 -がんから相分離まで-

健康・医療

(2 / 4)

小冊番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
H-036	岐阜大学	大野 敏	保存安定性の高い架橋形成酵素の開発とバイオマテリアルへの応用
H-037	大阪大学	山口 哲志	光応答性細胞培養表面：光でとれる・くっつく細胞ハンドリング
H-038	山陽小野田市立山口東京理科大学	佐伯 政俊	皮膚のシミの形成に関わるメラノソームを抑制するペプチド
H-039	鳥取大学	田村 純一	新規再生医療等材料へエンドトキシン除去プロテオグリカンへ
H-040	東海大学	岩岡 道夫	硫黄・セレン・テルルを含有する機能生体分子の合成技術
H-041	岩手大学	尾崎 拓	中分子ペプチド送達技術による世界初の加齢黄斑変性点眼薬の開発
H-042	岡山理科大学	古賀 雄一	超耐熱性プロテアーゼを利用した医療器具超洗浄
H-043	摂南大学	大橋 貴生	優れた抗うつ・抗がん作用を有するアピインの大量合成
H-044	長崎国際大学	田中 宏光	加齢に勝つ！モヤシ粉「クメフル」
H-045	岐阜大学	高須 正規	ウイルス移行の心配のない新規異種移植用培地作製技術
H-046	千葉工業大学	信川 創	パーソナライズされた睡眠時刻ナビゲーションシステム
H-047	自然科学研究機構生理学研究所	知見 聡美	運動皮質活動に基づく脳深部刺激によるパーキンソン病新規治療法
H-048	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所	浅川 和秀	ALSの謎、解明へ ～TDP-43の光制御でALS再現～
H-049	山口大学	竹下 幸男	患者と医療者が神経回復の状態を客観的に評価できる筋力評価機器
H-050	帯広畜産大学	室井 喜景	女性、特に産後女性のストレス対処を改善する医薬組成物
H-051	滋賀医科大学	漆谷 真	筋萎縮性側索硬化症の原因タンパクを分解除去する抗体断片
H-052	埼玉大学	津田 佐知子	ゼブラフィッシュを用いた生体膜電位イメージング
H-053	聖マリアンナ医科大学	伊佐早 健司	院内発症脳梗塞の発症予測
H-054	広島国際大学	長嶺 憲太郎	ハイドロキシアパタイト誘導体を用いた口腔内悪玉菌の迅速検査
H-055	三重大学	鳥羽 修平	胸部レントゲン写真からの血行動態定量評価法
H-056	島根大学	今出 真司	骨粗鬆症患者専用！骨質に依らず正確な穴を製作できる新型ドリル
H-057	北里大学	橋本 成世	高精度放射線治療に対応した3次元線量分布測定器
H-058	大阪医科薬科大学	石田 光明	尿路上皮癌の新規診断および治療抵抗性予測マーカー
H-059	新潟大学	三上 剛和	広視野高解像度3次元組織再構築法
H-060	香川高等専門学校	山本 雅史	防汚機能の有する胆管ステント
H-061	青山学院大学	野澤 昭雄	顔画像バイタルセンシング ～非接触・即時血行動態計測技術
H-062	東京電機大学	井上 淳	加速度から一定時間後の歩行速度を推定
H-063	愛知医科大学	藤井 公人	マイクロ波マンモグラフィ
H-064	中部大学	山口 誠二	傾斜構造を持つチタン多孔体：早期骨形成と長期安定抗菌性を実現
H-065	名古屋市立大学	堀 寧	X線防護衣による肩こり、これで良くなるかも！？
H-066	東京電機大学	桑名 健太	迅速にへその緒を切断！「臍帯切断デバイスの開発」
H-067	東京農工大学	倉科 佑太	超音波を用いた“針のない”経皮薬剤投与方法
H-068	芝浦工業大学	中村 奈緒子	細胞の変化を生きたまま高精度に評価できる！
H-069	埼玉県立大学	小泉 浩平	理容師・美容師の手指障害を予防する動作解析装置
H-070	東京理科大学	大塚 英典	免疫応答の無い治療用の細胞培養ゲル材料の開発

健康・医療

(3 / 4)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
H-071	東京理科大学	竹村 裕	見えないものを見える化する革新的な術中ナビゲーションへの挑戦
H-072	浜松医科大学	田村 和輝	光学顕微鏡に内蔵可能な光学式機械物性計測装置
H-073	立命館大学	坂上 友介	「薄い味」でも満足！微弱電気刺激による味覚向上装置
H-074	筑波大学	森田 昌彦	簡易脳波計を用いたうつ気分の推定とうつ病リスクの評価
H-075	公立諏訪東京理科大学	橋元 伸晃	熱中症、低体温症予防に寄与する小型ウェアラブル深部体温計
H-076	信州大学	阿部 誠	光で血圧を測る！ ～高精度化を実現する信号処理技術～
H-077	熊本大学	中島 雄太	医療・環境・農業に展開するポータブル型検査・分析デバイス
H-078	富山大学	小熊 規泰	拡張現実支援型次世代リハビリテーションシステム
H-079	香川大学	寺尾 京平	ブレードアレイデバイスによる生体サンプル微小空間サンプリング
H-080	電気通信大学	小泉 憲裕	『医デジ化』を推進するロボティック局在診断・局所治療システム
H-081	千葉大学	津村 徳道	肌カラー画像からの色素成分分離技術とその応用
H-082	近畿大学	西手 芳明	注射練習用のリアル感を追求したパッドの開発
H-083	札幌市立大学	三谷 篤史	高齢者の食事をサポートするスキルを学ぶシミュレータの開発
H-084	九州工業大学	田村 拓也	曝露低減効果・作業効率が高い液状化学物質の密閉作業容器
H-085	北九州市立大学	磯田 隆聡	細菌を短時間で検査するスマートセンサシステムの開発
H-086	北海道科学大学	丁野 純男	オレガノ抽出物を含有する抗アニサキス症組成物
H-087	大阪公立大学	岩田 晃	腰痛対策のための体幹回旋制御サポーター
H-088	神戸大学	尾崎 まみこ	ベビーとママの贈り物：癒しを届ける香料設計とご提案
H-089	北海道科学大学	佐藤 洋一郎	ひとりのできる転倒予防～あしゆびのトレーニング～
H-090	久留米大学	大久保 博	赤外線を用いたCTの原理実験装置
H-091	鳥取大学	柴田 敏史	細菌ペン毛運動を抑制し病原性を低下させる生薬由来成分
H-092	日本大学	野伏 康仁	フラバノン化合物による脂肪細胞のベージュ化を介した抗肥満作用
H-093	鹿児島大学	岡本 実佳	抗新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）薬
H-094	東京理科大学	草森 浩輔	細胞医薬を革新する細胞内へのミトコンドリア導入技術
H-095	北里大学	渡辺 俊	糖脂質をターゲットとした新しい作用機序を有する鎮痛薬
H-096	大阪医科薬科大学	朝井 章	肝硬変に対する抗線維化を目的としたCCL1遺伝子治療
H-097	名古屋工業大学	水野 稔久	食べても安全な天然樹脂セラックからの新規細胞培養材料開発
H-098	帝京大学	鈴木 幸一	CRADAR-i 革新的な核酸迅速診断法
H-099	学習院大学	柳 茂	ミトコンドリアを標的にした創薬技術と創薬開発
H-100	奈良先端科学技術大学院大学	稲垣 直之	シューテインの機能阻害による癌細胞の浸潤および増殖の抑制
H-101	熊本大学	岡田 誠治	Ez-Plant: マウスに優しい生体組織移植針
H-102	神奈川工科大学	広井 賀子	大規模言語モデルによるインタラクティブ薬剤情報提供マシン
H-103	帝京平成大学	大野 まき	抗菌薬の感受性を高める一本鎖VHH抗体
H-104	帝京平成大学	秋山 晴代	IgEの架橋活性を指標とする新規アレルギー検査法の開発
H-105	北里大学	大城 太一	抗真菌薬アムホテリシンBの活性増強剤の開発

健康・医療

(4 / 4)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
H-106	東海大学	今井 仁	特殊な大腸菌を狙ったクローン病の新規治療法の開発
H-107	福岡大学	櫛川 舞	再生医療を加速する細胞培養フィルムの開発

情報通信

(1 / 2)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
I-001	金沢工業大学	深沢 徹	小型アンテナ実装技術
I-002	宇都宮大学	杉原 興浩	マルチチャンネル自動光接続で光インターコネクトの未来を加速する
I-003	立命館大学	坊野 慎治	液体金属液滴シャトルが拓く！複数信号スイッチング
I-004	東北工業大学	室山 真徳	ロボット触感&人動きのデジタル化：鍵は集積システム
I-005	筑波大学	海老原 格	センサのSN比を向上させる電源ノイズ及び外来ノイズ消失回路
I-006	龍谷大学	木村 睦	次世代半導体技術で実現する極低消費電力の世界
I-007	龍谷大学	石崎 俊雄	負荷変動対応可能なマイクロ波パワーアンプ用整合回路
I-008	兵庫県立大学	前中 一介	人に優しい柔軟センサデバイスとその応用
I-009	千葉大学	関屋 大雄	簡単簡素に電気を送る -制御レスワイヤレス給電の実現
I-010	慶應義塾大学	田中 宗	Quantum CAE向け量子・AI最適化ソフトウェア
I-011	大阪大学	兼本 大輔	超省電力センシング〜バッテリーレスセンサーの実現を目指して〜
I-012	九州工業大学	徳永 旭将	学習コストを大幅に低減する外観検査AI技術
I-013	慶應義塾大学	山崎 信行	組込みシステム用ノンストッププロセッサ/SoC/SiP
I-014	岩手県立大学	蔡 大維	中小スキー場魅力化向けの新型ICカードリフトシステム
I-015	関西学院大学	長田 典子	大規模言語モデルを用いた評価グリッド法の自動化
I-016	神奈川工科大学	田中 博	ストリーミング用録画映像に混入した音声雑音の除去サービス
I-017	富山高専専門学校	的場 隆一	スマートグラスを用いたポリ塩化ビニル選別補助システム
I-018	関西大学	西 寛仁	コンピューターホログラフィによる裸眼3Dディスプレイ
I-019	立命館大学	木村 朝子	仮想物体への接触感を提示する先端伸縮型デバイス
I-020	電気通信大学	小木曾 公尚	リアルタイム鍵更新と秘密計算によるセキュアな自動制御技術
I-021	大阪産業大学	伊藤 一也	運転中の覚醒度を向上させる革新的な音響技術の提案
I-022	佐賀大学	福田 修	作業者と一緒に見て 考えて 動作する作業支援ツール
I-023	三重大学	松井 博和	ロボット教師によるダイレクトメソッドの外国語会話学習
I-024	和歌山大学	菅間 幸司	WEBブラウザから利用可能！全自動AIモデル圧縮技術
I-025	名古屋大学	部矢 明	ハプティクスのための3次元振動モータ
I-026	東京理科大学	荒井 翔悟	低コスト3次元計測装置を搭載したロボットハンドリングシステム
I-027	筑波大学	高谷 剛志	光沢/透明物の高速・省電外観検査
I-028	京都産業大学	中島 伸介	視覚障がい者のための仮想現実空間の開発
I-029	会津大学	富岡 洋一	持続可能な高効率AI回路とシステム
I-030	大阪公立大学	高橋 秀也	目に優しい高臨場感・高画質・広視域メガネなし3Dディスプレイ
I-031	奈良先端科学技術大学院大学	清川 清	視力推定メガネ
I-032	金沢工業大学	松下 裕	AIを用いて文字拡大できる視線操作型Web提示システム
I-033	慶應義塾大学	桂 誠一郎	モーションコピーロボットハンド
I-034	筑波大学	川崎 真弘	ヒトの心理状態と他者との相性を運動リズム同期で可視化する
I-035	関西大学	瀬島 吉裕	コミュニケーションにおける雰囲気推定技術

情報通信

(2 / 2)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
I-036	立命館大学	松村 耕平	絵文字☺で測るヒトの気持ち：だれもが続けられる調査法
I-037	東海大学	竹村 憲太郎	イベントカメラによる明・暗瞳孔法を用いた高速瞳孔追跡
I-038	同志社大学	廣垣 俊樹	機械学習で産業用ロボットの高速動作精度な特異点通過
I-039	茨城大学	尾高 裕隆	Real-time異常検知AIモデルの開発
I-040	秋田県立大学	藤井 達也	超高濃度カーボンナノチューブ複合樹脂薄膜の製造技術
I-041	岩手大学	平原 英俊	高温高湿下での異種材料間の平滑界面を持つ高密着分子接合技術
I-042	高知工科大学	林 正太郎	自立型有機光共振器
I-043	東海大学	富田 恒之	赤外励起蛍光体の開発と新規なイメージングデバイス応用
I-044	筑波大学	有馬 澄佳	人みたいAI、宝さがしAI

インフラ・安全・社会基盤

(1 / 1)

小間番号	代表研究者：機関名	代表研究者名	展示タイトル
S-001	創価大学	西山 道子	安全性と経済性を両立した次世代光ファイバ水素センサ
S-002	大阪工業大学	熊本 和夫	無線通信による下水管構造を活用した内水汜濫監視システム
S-003	大阪公立大学	吉村 武	電池レスBLEビーコンによる位置測位システム
S-004	長岡技術科学大学	中山 忠親	柔軟物を把持できるAI制御ロボットと触感センサー融合システム
S-005	立命館大学	田 陽	AIを用いた低コスト小型三次元建築物計測システム
S-006	明治大学	加藤 恵輔	既存の建物のドアを開けて通過可能な移動・作業ロボット
S-007	宮崎大学	舩屋 賢	多方向に曲げられる柔軟なタイミングベルト
S-008	東京工業大学	塚越 秀行	多様な壁面・天井面に着脱可能なハイブリッド式吸盤
S-009	工学院大学	小川 雅	加工ひずみを考慮した高精度な加工前寸法決定システムの構築
S-010	兵庫県立大学	原田 泰典	段ボール紙のような空隙チタン容器の成形技術開発
S-011	弘前大学	笹川 和彦	指に接着して手ごたえを可視化するフィルム型力覚センサ
S-012	工学院大学	永井 裕己	低屈折率・低反射率・高透過率のフレキシブルフィルムヒーター
S-013	信州大学	富澤 隼	接着性樹脂を用いた不織布の高強度化
S-014	東洋大学	竹井 弘之	SERS（表面増強ラマン分光法）による簡便・迅速化学分析
S-015	東京電機大学	足立 直也	アンモニアガスを瞬時に目視検出！イオン液体センサの開発
S-016	東京工業大学	大塚 英幸	力を蛍光で高感度可視化できる高分子
S-017	岐阜大学	木村 浩	クレイを用いたフレッシュコンクリートの物理ゲル化
S-018	愛知工業大学	山本 義幸	アクチュエータ駆動による低性能センサデータの高精度化
S-019	名古屋工業大学	伊藤 洋介	ドローンを活用した足場いらずの外壁タイル剥離診断
S-020	信州大学	近広 雄希	畳んで運んで現場で橋に！縦横に伸縮するパネルユニット
S-021	金沢工業大学	露本 伊佐男	木材・木質材料・紙を不燃化する最新技術
S-022	中部大学	高田 一	消火ボール発射装置搭載ドローン
S-023	仙台高等専門学校	園田 潤	インフラ点検等を全自動化するAI地中レーダロボット
S-024	九州工業大学	淵脇 正樹	河川の流速・流向・水位をリアルタイム計測
S-025	香川高等専門学校	向谷 光彦	災害時の断水地域にため池の水を供給する簡易システム
S-026	自然科学研究機構国立天文台	服部 雅之	レーザー送出光学装置への補償光学系への応用とデモ

JST・後援機関展示

(1 / 1)

小間番号	出展機関・事業名	出展種別	展示タイトル／研究者名
J-001	中小企業基盤整備機構（中小機構）	後援機関展示	中小企業基盤整備機構（中小機構）
J-002	新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	後援機関展示	Plus (Platform for unified support for startups) 政府系16機関連携スタートアップ支援プラットフォーム
J-003	特許庁	後援機関展示	オープンイノベーション促進のためのモデル契約書
J-004	工業所有権情報・研修館（INPIT） 知財活用支援センター	後援機関展示	中小企業・スタートアップ・大学の知財支援は無料のINPIT！
J-005	科学技術振興機構（JST） 未来社会創造事業	JST採択課題展示	グラフエンバイオセンシング技術の社会実装に向けた挑戦／松本 和彦
J-006	科学技術振興機構（JST） A-STEP実装支援	JST事業展示	JSTスタートアップ開発支援制度 研究成果を社会につなぐ
J-007	科学技術振興機構（JST） SUCCESS(出資型新事業創出支援プログラム)	JST事業展示	SUCCESS(出資型新事業創出支援プログラム)
J-008	科学技術振興機構（JST） CREST	JST採択課題展示	プラスチックを肥料へと変換するリサイクルシステム／青木 大輔
J-009	科学技術振興機構（JST） CREST	JST採択課題展示	SYNTHETIQ VISION: フェイク顔映像を自動判定するプログラム／山岸 順一
J-010	科学技術振興機構（JST） さきがけ	JST採択課題展示	個人特定に繋がりがやすい情報を活用しない、人物状態推定／五十川 麻理子
J-011 (8月22日)	科学技術振興機構（JST） CREST	JST採択課題展示	人に気づきを与え分かり合える人工知能技術／今井 倫太
J-011 (8月23日)	科学技術振興機構（JST） さきがけ	JST採択課題展示	回答バイアスに頑健な比較型非認知能力測定技術／岡田 謙介
J-012 (1/2スペース) ①	科学技術振興機構（JST） ACT-X	JST採択課題展示	水添加のみで解析！無電化地域を想定した超早期感染検査技術／木村 雄亮
J-012 (1/2スペース) ②	科学技術振興機構（JST） ACT-X	JST採択課題展示	培養から移植まで！生体内環境を模倣したタンパク質ゲル材料／大山 智子
J-013	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST事業展示	A-STEP 産学共同
J-014	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	低騒音プロペラ開発のための3次元旋回流相対速度計測システム／堀江 昌朗
J-015	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	空気中の水蒸気分布を可視化する光計測システム／角田 直人
J-016	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	発光式円偏光変換フィルム ～偽造防止から農業まで～／岡崎 豊
J-017	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	細胞内にバイオ医薬品を安全かつ高効率に導入可能な変幻自在ポリマー／東 大志
J-018	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	革新的な核酸送達用ナノテクノロジーの開発／宮本 寛子
J-019	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	安全ながん治療を実現する緑茶カテキン・ナノ粒子・薬物送達システム／栗澤 元一
J-020	科学技術振興機構（JST） 知財活用支援事業	JST事業展示	Incubate Fund 事業化推進中大学技術シーズ
J-021	科学技術振興機構（JST） 知財活用支援事業	JST事業展示	JSTオススメ保有特許技術紹介
J-022	科学技術振興機構（JST） 研究開発戦略センター（CRDS）	JST事業展示	科学技術イノベーションのナビゲーターを目指す公的シンクタンク
J-023	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	下肢麻痺者が自由に歩いて生活するための装着型ロボット／香川 高弘
J-024	科学技術振興機構（JST） A-STEP	JST採択課題展示	昆虫の光源定位の原理に根ざした誘引/忌避光源の開発／西野 浩史
ポスター展示①	科学技術振興機構（JST） CREST	JST採択課題展示	多能性中間膜によるマルテンサイトエピタキシー技術と製品化／田畑 仁
ポスター展示②	科学技術振興機構（JST） ACT-X	JST採択課題展示	楽しくデータを集めよう！アナレーション支援システム／松井 智一
ポスター展示③	科学技術振興機構（JST） ACT-X	JST採択課題展示	液中微量物質の自動検出を目指した液体操作システム／矢管 浩規

3.出展研究者プレゼンテーション・ セミナー



8/22 木 1日目

セミナー会場

 出展研究者
ショートプレゼンテーション
会場

10:00

10:30

11:00

11:30

12:00

12:30

13:00

13:30

14:00

14:30

15:00

15:30

16:00

16:30

17:00


 戦略的創造的競争促進事業
CREST
Center for Research for Regional Growth and Technology

11:00~12:30

 次世代超高密度
磁気記録技術への挑戦
:材料開発と関連技術の最前線
~CREST情報担体~

11:00~16:00

 出展研究者
ショート
プレゼンテーション

会場 A

 カーボンニュートラル・環境
食料・農林水産
情報通信

会場 B

 健康・医療
情報通信
インフラ・安全・社会基盤

プログラムはp92・p93

併催事業


 2024
Award for
Academic Startups

13:30~

 大学発
ベンチャー表彰2024

第一部

表彰式

第二部

受賞社ピッチプレゼンテーション

8/23 金 2日目

セミナー会場

 出展研究者
ショートプレゼンテーション
会場

10:00

10:30

11:00

11:30

12:00

12:30

13:00

13:30

14:00

14:30

15:00

15:30

16:00

16:30

17:00



CRDS

10:30~12:30

 テクノロジー、サステナビリティ、
Well-beingの交差点
~イノベーションの動向を掴む~

11:00~16:00

 出展研究者
ショート
プレゼンテーション

会場 A

 食料・農林水産
情報通信
カーボンニュートラル・環境

会場 B

 情報通信
インフラ・安全・社会基盤
健康・医療

プログラムはp94・p95

 後援機関特別セミナー
工業所有権情報・研修館

13:30~14:30

 知的財産の戦略的活用による
大学発イノベーションの促進
~「知」を芽吹かせ、共に価値にするために~

知財活用支援事業

15:00~16:00

 自然に優しい未来を拓く
~耐熱性微細藻類の創薬利用と
省エネ電源回路利用IoTデバイス~

8/22(木)

1日目

プレゼン会場A

プレゼンテーション時間:15分

開始時間	ブース	所属機関	代表研究者名	展示タイトル
------	-----	------	--------	--------

▼ カーボンニュートラル・環境

11:00	C-012	法政大学	相原 建人	高効率・低減速比でもセルフロックするロッキングギヤ開発
11:08	C-074	鳥取大学	高部 祐剛	国内資源循環への貢献を目的とした下水中リン回収技術
11:16	C-044	北九州工業高等専門学校	谷口 茂	組成物の物性を高精度に予測可能な機械学習モデルの構築について
11:24	C-053	富山県立大学	水野 斎	サイズ依存発光特性を示す有機ナノ結晶を用いた塗布型有機EL素子
11:32	C-061	信州大学	高坂 泰弘	高速結合交換で実現する易分解性樹脂&ビトリマー性エラストマー
11:40	C-018	長岡技術科学大学	佐藤 靖徳	未来への一歩:地産地消型マイクロ風力発電の進化
11:48	C-049	信州大学	酒井 俊郎	超音波を用いたシンプル&ケミカルフリー金属コーティング
11:56	C-075	工学院大学	坂本 哲夫	PM2.5粒子の同位体識別個別粒子イメージング分析装置
12:04	C-040	熊本大学	河村 能人	革新的マルチ機能を有するマグネシウム合金の開発
12:12	C-065	長岡技術科学大学	高橋 由紀子	微粒子汚染検出のためのタッチテスト
12:20	C-072	法政大学	山本 兼由	新規ゲノム編集法で創出したパラジウムを蓄積する細菌
12:28	C-057	山口大学	岡本 浩明	チキソトロピー性を付与する非水素結合性低分子ゲル化剤の開発
12:36	C-077	琉球大学	滝本 大裕	ナノ空間工学による浄水技術
12:44	C-033	自然科学研究機構核融合科学研究所	時谷 政行	先進的接合技術 (1)銅系材料の接合、(2)光学材料の接合
12:52	C-056	九州工業大学	吉田 嘉晃	自己修復とケミカルリサイクルがともに可能な光学樹脂の開発
13:20	C-051	横浜市立大学	橘 勝	天然物からカーボン量子ドットを簡便に合成する方法
13:28	C-006	大阪公立大学	高橋 和	小型人工衛星用のフォトニック電位センサ
13:36	C-035	九州工業大学	宇佐美 雄生	印加圧力を学習可能なスポンジ型触覚センサ
13:44	C-029	静岡理工科大学	黒瀬 隆	貝殻真珠層を模倣した軽量複合材料
13:52	C-048	立命館大学	山根 大輔	環境発電等に期待!MEMS-エレクトレット集積化技術
14:00	C-032	岡山大学	山口 大介	前処理・接着剤フリー!スーパーエンブラ用レーザ溶着

▼ 食料・農林水産

14:08	F-020	奈良先端科学技術大学院大学	和田 セタ子	自殖性および種子サイズ操作によるナタネ新品種の開発
14:16	F-013	北見工業大学	浪越 毅	ポリマーコーティング種子による発芽時期の制御技術の開発
14:24	F-005	香川大学	下川 房男	植物生体情報センサシステムの社会実装の実現に向けて
14:32	F-026	宮崎大学	関口 敏	動物用瞬間採血装置
14:40	F-015	日本大学	窪田 聡	施設園芸の脱炭素化に貢献する蓄熱型根域環境制御装置
14:48	F-008	滋賀県立大学	杉浦 省三	骨なし魚の養殖
14:56	F-011	東海大学	清水 宗茂	マイクロプラスチックを体外排泄する食餌材料
15:04	F-012	岩手大学	袁 春紅	カキの活力・鮮度を迅速かつ非破壊で行う装置
15:12	F-009	岡山県立大学	伊東 秀之	機能性表示食品届出に必要な機能性関与成分の特定および定量

▼ 情報通信

15:20	I-016	神奈川工科大学	田中 博	ストリーミング用録画映像に混入した音声雑音の除去サービス
15:28	I-024	和歌山大学	菅間 幸司	WEBブラウザから利用可能!全自動AIモデル圧縮技術
15:36	I-009	千葉大学	関屋 大雄	簡単簡素に電気を送る-制御レスワイヤレス給電の実現
15:44	I-026	東京理科大学	荒井 翔悟	低コスト3次元計測装置を搭載したロボットハンドリングシステム
15:52	I-003	立命館大学	坊野 慎治	液体金属液滴シャトルが拓く!複数信号スイッチング
16:00	I-005	筑波大学	海老原 格	センサのSN比を向上させる電源ノイズ及び外来ノイズ消失回路

8/22(木)

1日目

プレゼン会場 B

プレゼンテーション時間:5分

開始時間	ブース	所属機関	代表研究者名	展示タイトル
------	-----	------	--------	--------

▼ 健康・医療

11:00	H-026	岐阜大学	武野 明義	すぼんじへあ -毛髪を多孔化しヘアケアを変える-
11:08	H-049	山口大学	竹下 幸男	患者と医療者が神経回復の状態を客観的に評価できる筋力評価機器
11:16	H-039	鳥取大学	田村 純一	新規再生医療等材料~エンドトキシン除去プロテオグリカン~
11:24	H-041	岩手大学	尾崎 拓	中分子ペプチド送達技術による世界初の加齢黄斑変性点眼薬の開発
11:32	H-042	岡山理科大学	古賀 雄一	超耐熱性プロテアーゼを利用した医療器具超洗浄
11:40	H-062	東京電機大学	井上 淳	加速度から一定時間後の歩行速度を推定
11:48	H-074	筑波大学	森田 昌彦	簡易脳波計を用いたうつ気分の推定とうつ病リスクの評価
11:56	H-080	電気通信大学	小泉 憲裕	『医デジ化』を推進するロボティック局在診断・局所治療システム
12:04	H-100	奈良先端科学技術大学院大学	稲垣 直之	シューティンの機能阻害による癌細胞の浸潤および増殖の抑制
12:12	H-059	新潟大学	三上 剛和	広視野高解像度3次元組織再構築法
12:20	H-066	東京電機大学	桑名 健太	迅速にへその緒を切断!「臍帯切断デバイスの開発」
12:28	H-056	島根大学	今出 真司	骨粗鬆症患者専用!骨質に依らず正確な穴を製作できる新型ドリル
12:36	H-017	広島市立大学	長谷川 義大	MEMS流量センサを用いた生体の呼吸計測
12:44	H-107	福岡大学	櫛川 舞	再生医療を加速する細胞培養フィルムの開発
12:52	H-001	岡山大学	深野 秀樹	光温度センサを集積した新しいファイバプローブ加熱治療器
13:20	H-034	大阪公立大学	遠藤 達郎	スマートナノセンシングフィルムで疾病・ウイルスを可視化する!
13:28	H-031	群馬大学	柴田 孝之	微小環境のpHを測定できる蛍光色素
13:36	H-012	広島大学	舟橋 久景	スプレー&撮影!固体表面核酸のスマホイメージング
13:44	H-015	大阪大学	小野 堯生	病原体のその場検出を可能にする小型グラフェンバイオセンサー
13:52	H-014	岐阜大学	竹森 洋	細胞外小胞の薬物送達システムへの応用
14:00	H-030	日本大学	嶋田 修之	効率性と環境調和性を兼ね揃えたアミドとペプチドの化学合成
14:08	H-008	中央大学	中村 太郎	VR空間を移動可能な全身力触覚提示システム
14:16	H-016	中部大学	新谷 正嶺	電子顕微鏡ライブイメージング法の開発
14:24	H-036	岐阜大学	大野 敏	保存安定性の高い架橋形成酵素の開発とバイオマテリアルへの応用
14:32	H-032	関西大学	大矢 裕一	分子の絡み合いからなる新しいヒドロゲル材料

▼ 情報通信

14:40	I-030	大阪公立大学	高橋 秀也	目に優しい高臨場感・高画質・広視域メガネなし3Dディスプレイ
14:48	I-013	慶應義塾大学	山崎 信行	組み込みシステム用ノンストッププロセッサ/SoC/SiP
14:56	I-037	東海大学	竹村 憲太郎	イベントカメラによる明・暗瞳孔法を用いた高速瞳孔追跡
15:04	I-032	金沢工業大学	松下 裕	AIを用いて文字拡大できる視線操作型Web提示システム

▼ インフラ・安全・社会基盤

15:12	S-005	立命館大学	田 陽	AIを用いた低コスト小型三次元建築物計測システム
15:20	S-015	東京電機大学	足立 直也	アンモニアガスを瞬時に目視検出!イオン液体センサの開発
15:28	S-011	弘前大学	笹川 和彦	指に接着して手ごたえを可視化するフィルム型力覚センサ
15:36	S-024	九州工業大学	淵脇 正樹	河川の流速・流向・水位をリアルタイム計測
15:44	S-010	兵庫県立大学	原田 泰典	段ボール紙のような空隙チタン容器の成形技術開発
15:52	S-026	自然科学研究機構国立天文台	服部 雅之	レーザー送出光学装置への補償光学系の応用とデモ
16:00	S-014	東洋大学	竹井 弘之	SERS(表面増強ラマン分光法)による簡便・迅速化学分析

8/23 金

2日目

プレゼン会場A

プレゼンテーション時間:5分

開始時間	ブース	所属機関	代表研究者名	展示タイトル
------	-----	------	--------	--------

▼ 食料・農林水産

11:00	F-004	埼玉工業大学	長谷 亜蘭	食品の声を聴く“AEセンシング”を活用した食感分析の新展開
11:08	F-010	奈良先端科学技術大学院大学	中瀬 由起子	香辛料によりアルコール発酵をデザインする技術の開発
11:16	F-003	熊本高等専門学校	湯治 準一郎	イガ栗と栗の実を同時に拾う回転式栗収穫機
11:24	F-001	静岡大学	峰野 博史	環境データとNIR/VRによるイチゴの光合成・蒸発散速度推定
11:32	F-006	法政大学	渡邊 雄二郎	ジオマテリアルを用いた水循環植物生育システムの開発
11:40	F-017	鳥根大学	赤間 一仁	ゲノム編集でGABAを増量したイネは環境ストレスに強い!

▼ 情報通信

11:48	I-041	岩手大学	平原 英俊	高温高湿下での異種材料間の平滑界面を持つ高密着分子接合技術
11:56	I-004	東北工業大学	室山 真徳	ロボット触感&人動きのデジタル化:鍵は集積システム
12:04	I-040	秋田県立大学	藤井 達也	超高濃度カーボンナノチューブ複合樹脂薄膜の製造技術
12:12	I-018	関西大学	西 寛仁	コンピューターホログラフィによる裸眼3Dディスプレイ
12:20	I-015	関西学院大学	長田 典子	大規模言語モデルを用いた評価グリッド法の自動化
12:28	I-002	宇都宮大学	杉原 興浩	マルチチャネル自動光接続で光インターコネクトの未来を加速する
12:36	I-023	三重大学	松井 博和	ロボット教師によるダイレクトメソッドの外国語会話学習
12:44	I-033	慶應義塾大学	桂 誠一郎	モーションコピーロボットハンド
12:52	I-035	関西大学	瀬島 吉裕	コミュニケーションにおける雰囲気推定技術
13:20	I-044	筑波大学	有馬 澄佳	人みたいAI、宝さがしAI
13:28	I-011	大阪大学	兼本 大輔	超省電力センシング~バッテリーレスセンサーの実現を目指して~

▼ カーボンニュートラル・環境

13:36	C-008	高知工科大学	池上 浩	光・量子を活用した産学官共創社会実装拠点の紹介
13:44	C-054	東京農工大学	田中 正樹	自由度が高い機能性有機材料を用いた自発分極形成技術
13:52	C-071	大阪公立大学	藤枝 伸宇	超集積細胞を用いた海水からタングステン分離回収法
14:00	C-025	東京工業大学	八島 正知	高プロトン・酸化物イオン伝導体:高性能固体燃料電池へ
14:08	C-046	弘前大学	園木 和典	非可食バイオマスから芳香族ポリマー原料をつくる技術
14:16	C-036	大阪大学	小澤 隆弘	特異な細孔構造を持つ多孔質セラミックスによるナノ粒子捕集
14:24	C-045	広島大学	森山 教洋	煙道ガスからの水蒸気回収膜:純水と廃熱の回収が可能に
14:32	C-034	芝浦工業大学	石崎 貴裕	革新的な環境に優しい軽金属への防食技術と高機能性材料創製技術
14:40	C-015	佐賀大学	富永 昌人	ユーザーフレンドリーなスティック型微生物燃料電池の開発
14:48	C-042	千葉大学	津田 哲哉	ワンポット合成で様々な金属ナノ粒子担持炭素材料が創れます!
14:56	C-013	東北大学	廣田 真	表面をデコボコにして流れをきれいに保つデバイス
15:04	C-063	弘前大学	竹内 大介	重合製膜による超高分子量ポリエチレン製シートの直接的製造
15:12	C-031	法政大学	明石 孝也	パルス放電噴流床 ~コークスを使わない新規乾式製錬法~
15:20	C-064	九州大学	松本 崇弘	木質バイオマスからのグリーン水素及びグリーンメタノール合成
15:28	C-067	新潟大学	渡邊 美寿貴	環境に優しい耐久性の優れた新しい青緑色顔料
15:36	C-001	九州大学	稲葉 優文	樹脂中で粒子を電氣的に並べる技術で放熱問題に挑む
15:44	C-030	大阪工業大学	羽賀 俊雄	アルミニウム合金ワイヤーハーネス用素線の格安作製方法
15:52	C-078	名城大学	奥村 裕紀	画像形状分析に利用可能な中心線簡易検出アルゴリズム
16:00	C-060	神戸学院大学	村上 遼	アミン系高分子による海洋直接回収技術

8/23 金

2日目

プレゼン会場 B

プレゼンテーション時間:5分

開始時間	ブース	所属機関	代表研究者名	展示タイトル
------	-----	------	--------	--------

▼ 情報通信

11:00	I-020	電気通信大学	小木曾 公尚	リアルタイム鍵更新と秘密計算によるセキュアな自動制御技術
11:08	I-027	筑波大学	高谷 剛志	光沢/透明物の高速・省電外観検査
11:16	I-036	立命館大学	松村 耕平	絵文字👉で測るヒトの気持ち:だれもが続けられる調査法
11:24	I-001	金沢工業大学	深沢 徹	小型アンテナ実装技術
11:32	I-031	奈良先端科学技術大学院大学	清川 清	視力推定メガネ

▼ インフラ・安全・社会基盤

11:40	S-009	工学院大学	小川 雅	加工ひずみを考慮した高精度な加工前寸法決定システムの構築
11:48	S-022	中部大学	高田 一	消火ボール発射装置搭載ドローン
11:56	S-003	大阪公立大学	吉村 武	電池レスBLEビーコンによる位置測位システム
12:04	S-019	名古屋工業大学	伊藤 洋介	ドローンを活用した足場いらずの外壁タイル剥離診断
12:12	S-004	長岡技術科学大学	中山 忠親	柔軟物を把持できるAI制御ロボットと触感センサー融合システム

▼ 健康・医療

12:20	H-028	北里大学	内山 洋介	生体内の酸素濃度勾配を3D画像化するための緑色蛍光法
12:28	H-072	浜松医科大学	田村 和輝	光学顕微鏡に内蔵可能な光学式機械物性計測装置
12:36	H-065	名古屋市立大学	堀 寧	X線防護衣による肩こり、これで良くなるかも!?
12:44	H-002	法政大学	安田 彰	小型・高精度ウェアラブル非侵襲血糖値センサ
12:52	H-004	工学院大学	田中 久弥	耳脳波を日常計測できる電極
13:20	H-022	兵庫県立大学	鈴木 雅登	手のひらサイズの細胞検査、回してわかる細胞の種類・状態
13:28	H-071	東京理科大学	竹村 裕	見えないものを見える化する革新的な術中ナビゲーションへの挑戦
13:36	H-006	国士舘大学	神野 誠	ロボ・メカ技術で医療従事者をやさしく支援
13:44	H-010	東京農工大学	中澤 靖元	医療応用を可能とする高機能化シルク複合化材料
13:52	H-063	愛知医科大学	藤井 公人	マイクロ波マンモグラフィ
14:00	H-088	神戸大学	尾崎 まみこ	ベビーとママの贈り物:癒しを届ける香料設計とご提案
14:08	H-067	東京農工大学	倉科 佑太	超音波を用いた"針のない"経皮薬剤投与方法
14:16	H-103	帝京平成大学	大野 まき	抗菌薬の感受性を高める一本鎖VHH抗体
14:24	H-093	鹿児島大学	岡本 実佳	抗新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)薬
14:32	H-073	立命館大学	坂上 友介	「薄い味」でも満足!微弱電気刺激による味覚向上装置
14:40	H-083	札幌市立大学	三谷 篤史	高齢者の食事をサポートするスキルを学ぶシミュレータの開発
14:48	H-020	滋賀県立大学	秋山 毅	高感度ラマン散乱分析の実用化を加速する銀ナノ材料
14:56	H-021	兵庫県立大学	住友 弘二	巨大ベシクル内に表面増強ラマンを用いたバイオセンサー
15:04	H-044	長崎国際大学	田中 宏光	加齢に勝つ!モヤシ粉「クメフル」
15:12	H-101	熊本大学	岡田 誠治	Ez-Plant: マウスに優しい生体組織移植針
15:20	H-019	九州工業大学	坂本 憲児	医療・ヘルスケア向け液体(血液・唾液等)粘度測定装置
15:28	H-007	東北大学	佐藤 岳彦	わずかな水だけで濡らさずに低温で洗浄・殺菌する技術
15:36	H-038	山陽小野田市立山口東京理科大学	佐伯 政俊	皮膚のシミの形成に関わるメラノソームを抑制するペプチド
15:44	H-018	関西学院大学	田和 圭子	ナノホール構造を用いた高感度免疫センサー
15:52	H-013	京都工芸繊維大学	吉田 裕美	電解質濃度を利用したリポソームにおける薬剤の濃縮・放出
16:00	H-040	東海大学	岩岡 道夫	硫黄・セレン・テルルを含有する機能生体分子の合成技術

8/22(木) 11:00~12:30

 次世代超高密度磁気記録技術への挑戦
 : 材料開発と関連技術の最前線 ~CREST情報担体~


JST CREST「情報担体」領域では、デバイス内での情報処理の鍵となる情報担体に着目し、情報担体の特性を活用した高性能・高機能デバイスの創出、さらにこれらを集積化・システム化することにより社会実装可能な情報システム基盤技術の創成を目指します。

今回のセミナーでは物質・材料研究機構 高橋有紀子センター長が率いる研究チームより、「次世代超高密度磁気記録技術への挑戦: 材料開発と関連技術の最前線」と題して研究成果についてご発表いただきます。

01 イントロダクション

JST戦略的
創造研究推進事業
CREST
/さきがけの紹介

科学技術振興機構
戦略研究推進部
グリーンイノベーショングループ

02 セミナー

CREST情報担体
領域の紹介

CREST情報担体
研究総括

平本 俊郎

東京大学 生産技術研究所 教授



3次元磁気記録に向けた
材料開発と関連技術

CREST情報担体
研究代表者

高橋 有紀子

物質・材料研究機構
磁性・スピントロニクス材料研究センター
センター長



高速磁化ダイナミクス測定
とその応用

CREST情報担体
研究参加者

佐々木 悠太

物質・材料研究機構
磁性・スピントロニクス材料研究センター



(敬称略)

お問合せ / JST戦略研究推進部 E-mail : crest@jst.go.jp

8/22(木) 13:30~

大学発ベンチャー表彰2024



今年で11年目を迎える大学発ベンチャー表彰は、大学等の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰するものです。特設展示ゾーンには、今年のノミネート企業8社が展示されます。22日(木)13:30~の表彰式にて、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞はじめ、各賞の受賞社を発表します。表彰式後は受賞社によるピッチプレゼンを行います。

第一部 表彰式

第二部 プレゼンテーション

01 開会挨拶

科学技術振興機構理事長
橋本 和仁

02 来賓紹介

03 表彰式

各賞発表
賞状・賞牌授与

04 閉会挨拶

新エネルギー・産業技術総合開発機構
理事長
斎藤 保

01 選考委員長評

大学発ベンチャー表彰選考委員長
野長瀬 裕二

摂南大学経済学部教授
首都圏産業活性化協会会長

第二部 プレゼンテーション

02 受賞社ピッチプレゼンテーション

ノミネート企業 (50音順)



AWL株式会社
代表取締役社長
兼CEO 北出 宗治



株式会社エキュメノポリス
代表取締役 松山 洋一



QuEL, Inc.
キューエル株式会社
代表取締役 伊藤 陽介



ソニア・セラピューティクス
株式会社
代表取締役社長
兼CEO 佐藤 亨



TopoLogic株式会社
代表取締役 佐藤 太紀



トレッジムバイオファーマ
株式会社
代表取締役社長 喜早 ほのか



P+Bio
プラチナバイオ株式会社
代表取締役 奥原 啓輔



リンクメッド株式会社
代表取締役 吉井 幸恵

(敬称略)

お問合せ / 大学発ベンチャー表彰事務局 E-mail : aas@jst.go.jp

8/23(金) 10:30~12:30 / テクノロジー、サステナビリティ、Well-beingの交差点

～イノベーションの動向を掴む～



JST研究開発戦略センター(CRDS)は、国内外の科学技術イノベーションや社会・政策の動向を把握・俯瞰・分析する公的シンクタンクです。本セミナーでは、CRDSフェローが、テクノロジーの進歩がもたらす、サステナビリティの向上やWell-beingの実現に焦点を当て、それぞれが交差する最新の研究開発動向を分かりやすく解説します。CRDSフェローが大学見本市のためにピックアップした選りすぐりのトピックをお届けします。セミナー終了後のフェローとのネットワーキングの機会もぜひご活用ください。

01 イントロダクション

JST研究開発
戦略センター(CRDS)
企画運営室室長



中山 智弘

02 セミナー

科学技術が駆動する
地域イノベーション
- 世界の事例から



CRDSフェロー 澤田 朋子

研究開発を守る
: 各国の研究セキュリティ



CRDSフェロー 奥田 将洋

世界の水問題と
科学技術の貢献



CRDSフェロー 坪井 彩子

02 セミナー

食・栄養に関する
研究開発動向と今後の展望



CRDSフェロー 戸田 智美

創業に関する
研究開発動向と今後の展望



CRDSフェロー 辻 真博

バイオテクノロジーと
材料・デバイス技術の
融合展開



CRDSフェロー 高村 彩里

生成AIとロボット研究の
新たなフロンティア



CRDSフェロー 茂木 強

03 質疑応答

終了後 ネットワーキング/セミナー会場横CRDSブース

お問合せ / JST研究開発戦略センター(CRDS) 企画運営室 E-mail : crds@jst.go.jp

8/23(金) 13:30~14:30 / 知的財産の戦略的活用による大学発イノベーションの促進

～「知」を芽吹かせ、共に価値にするために～



独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training

大学のおかれた現状や課題を整理しつつ、大学の知的財産を戦略的に活用していくことの重要性とその活かし方を解説します。また、産学連携、社会実装等の場面における工業所有権情報・研修館(INPIT)の支援や施策もお伝えし、大学関係者だけでなく、企業の研究・開発担当者にも有益な情報をご提供します。これまで大学で研究・産学連携を担当してきた理事・副学長の経験をもとに、INPIT新理事長(本年4月に就任)の抱負も含め語ります。今後の日本の大学発イノベーションについて、一緒に展望しましょう。

後援機関 特別セミナー

知的財産の戦略的活用による
大学発イノベーションの促進
～「知」を芽吹かせ、共に価値にするために～

渡辺 治 氏

独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長



お問合せ / 工業所有権情報・研修館 知財経営推進企画室 E-mail : ip-ck01@inpit.go.jp

8/23(金) 15:00~16:00 / 自然に優しい未来を拓く

～耐酸性微細藻類の創薬利用と省エネ電源回路利用IoTデバイス～

知財活用支援事業

Intellectual Property Utilization Support Program

JST知的財産マネジメント推進部は、知財活用支援事業の活動の一つとして、日本の大学や研究機関においてJSTの研究開発プログラムの成果により創出された発明や、プログラム終了後に創出され、大学等から譲り受けた有用性のある発明について特許出願を行っています。それに加え、ライセンス活動等を通じて、発明技術の社会実装を推進します。本セミナーでは、JST保有特許の発明者2名に登壇いただき、まったく異なる視点から、自然に優しい未来を拓く技術をご紹介します。共同研究や技術移転の可能性をぜひご検討ください。

01 イントロダクション

知財集約活用Gの活動紹介

JST知的財産
マネジメント推進部
知財集約・活用グループ

02 JST保有知財発表

省エネ電源回路による
環境エネルギー駆動のIoTデバイス

矢嶋 赳彬

九州大学 システム情報工学研究院電気電子工学専攻 准教授



耐酸性微細藻類イデユコゴメを用いた
バイオ医薬品プラットフォームの実用化

大松 勉

東京農工大学 農学部附属感染症未来疫学研究センター 准教授



03 ～終わりに

JST保有特許の
さらなる活用に向けて

JST知的財産
マネジメント推進部
知財集約・活用グループ

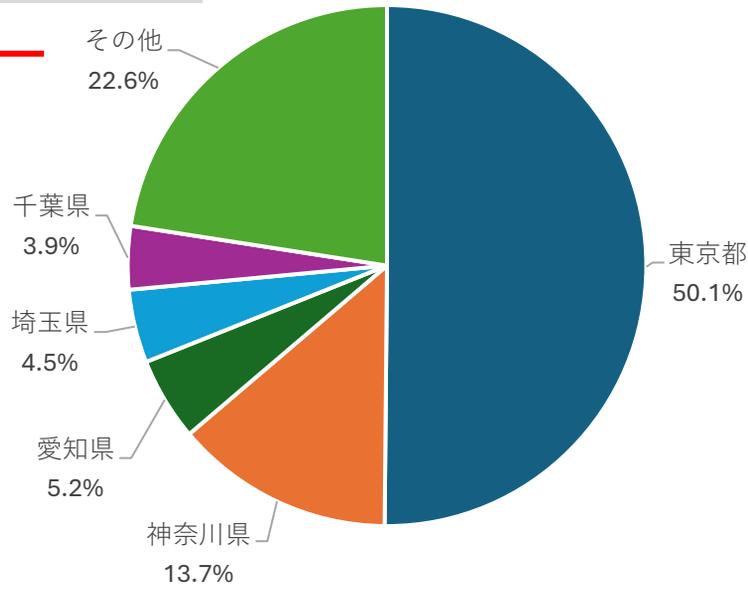
(敬称略)

お問合せ / JST知的財産マネジメント推進部 知財集約・活用G 大学見本市担当 E-mail : license@jst.go.jp

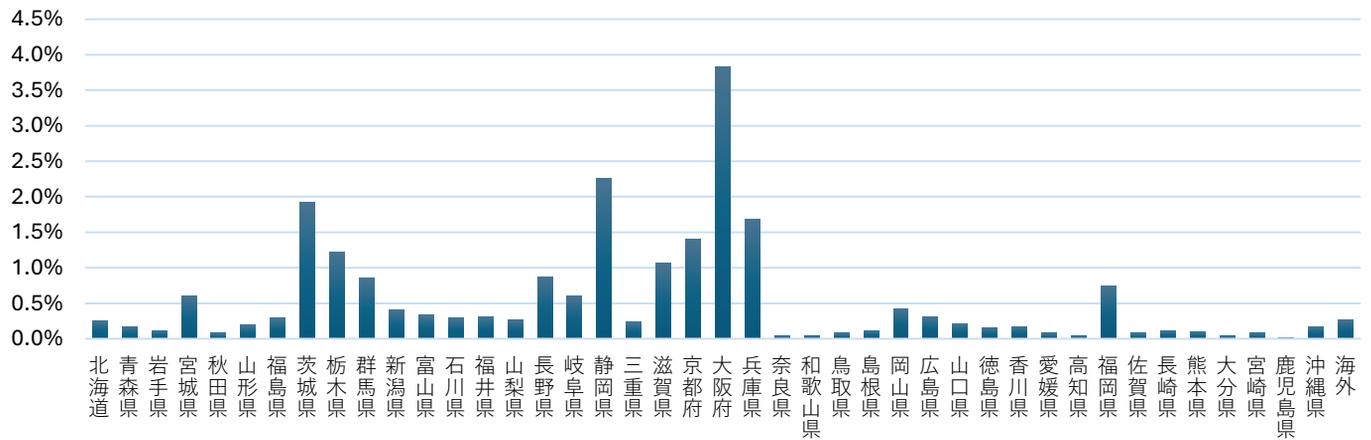
4.来場者属性調査結果



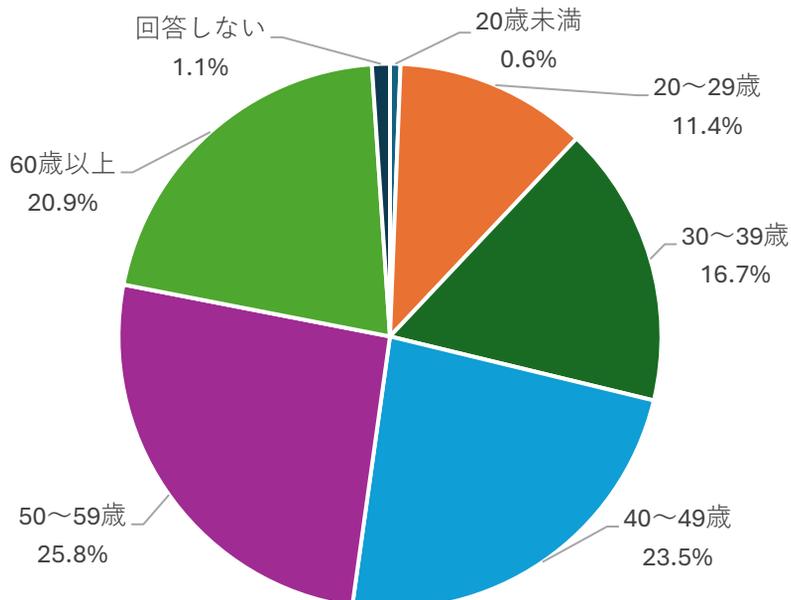
来場者所在地（都道府県）



その他内訳



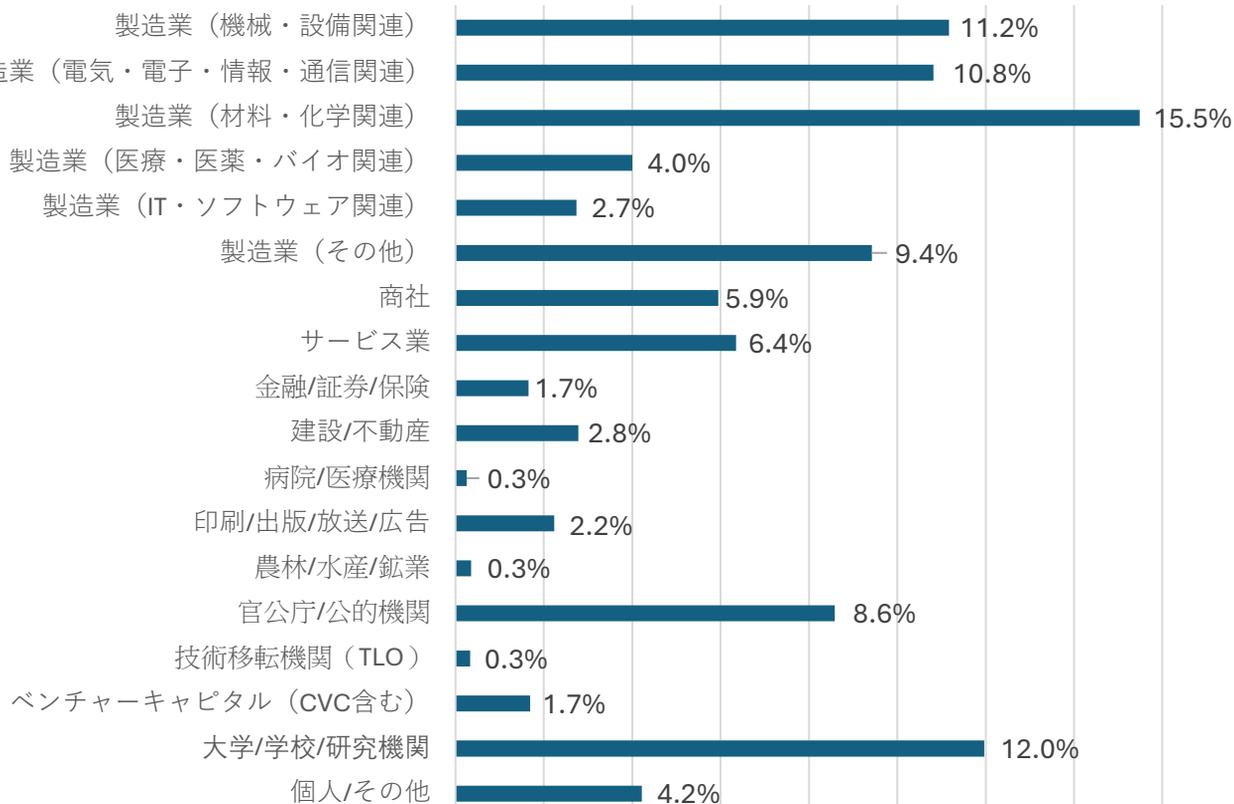
年齢



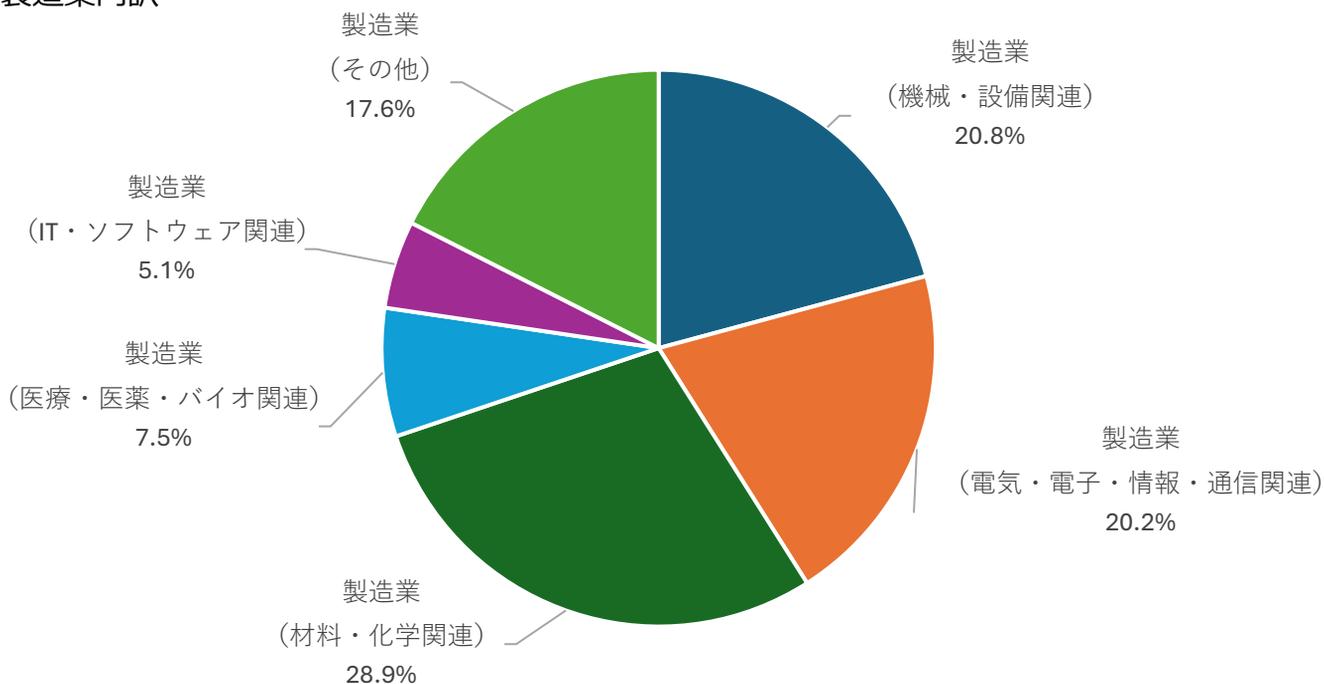
業種

製造業

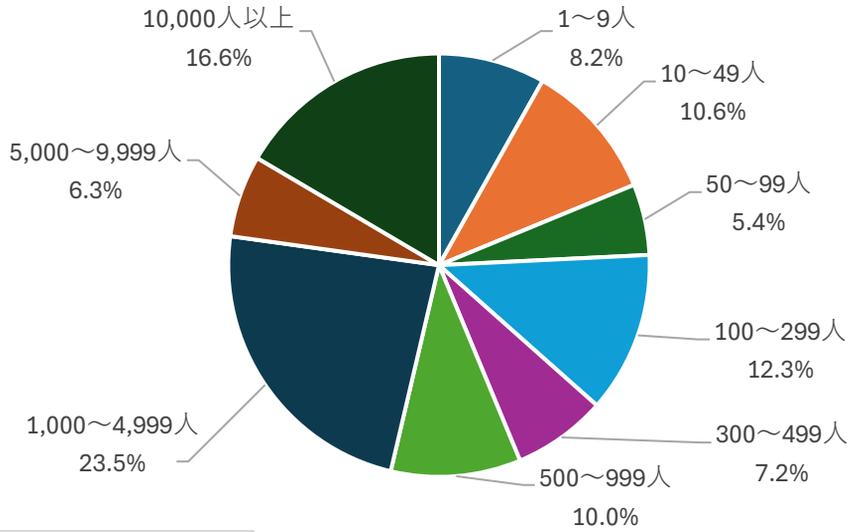
(53.6%)



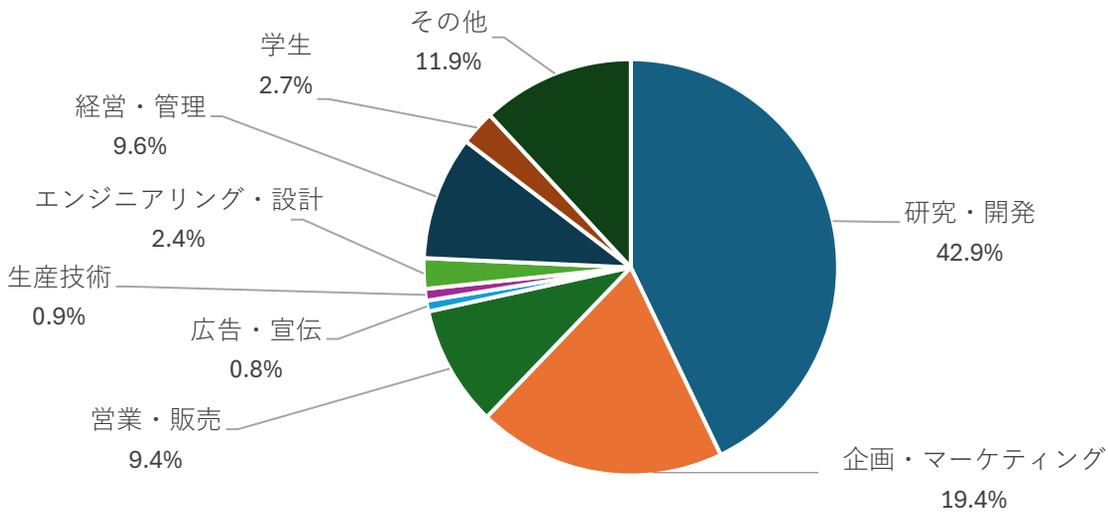
製造業内訳



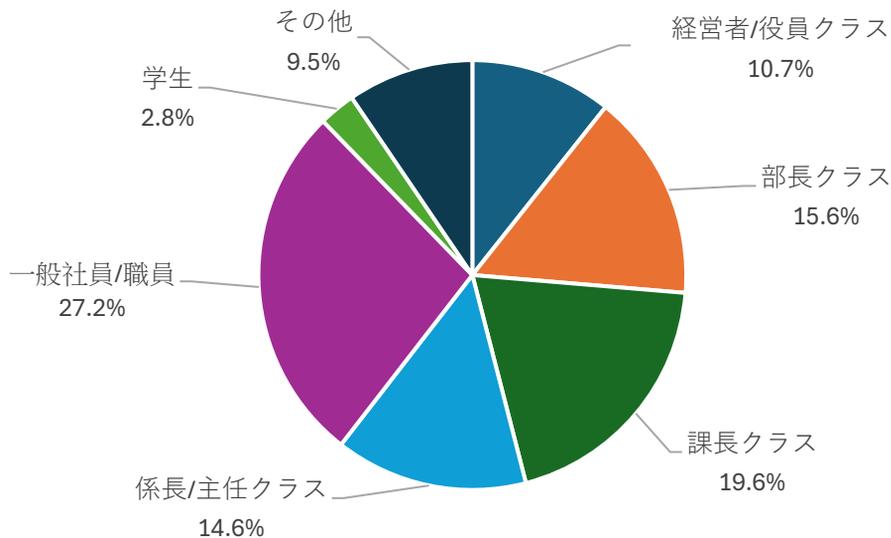
所属先の規模



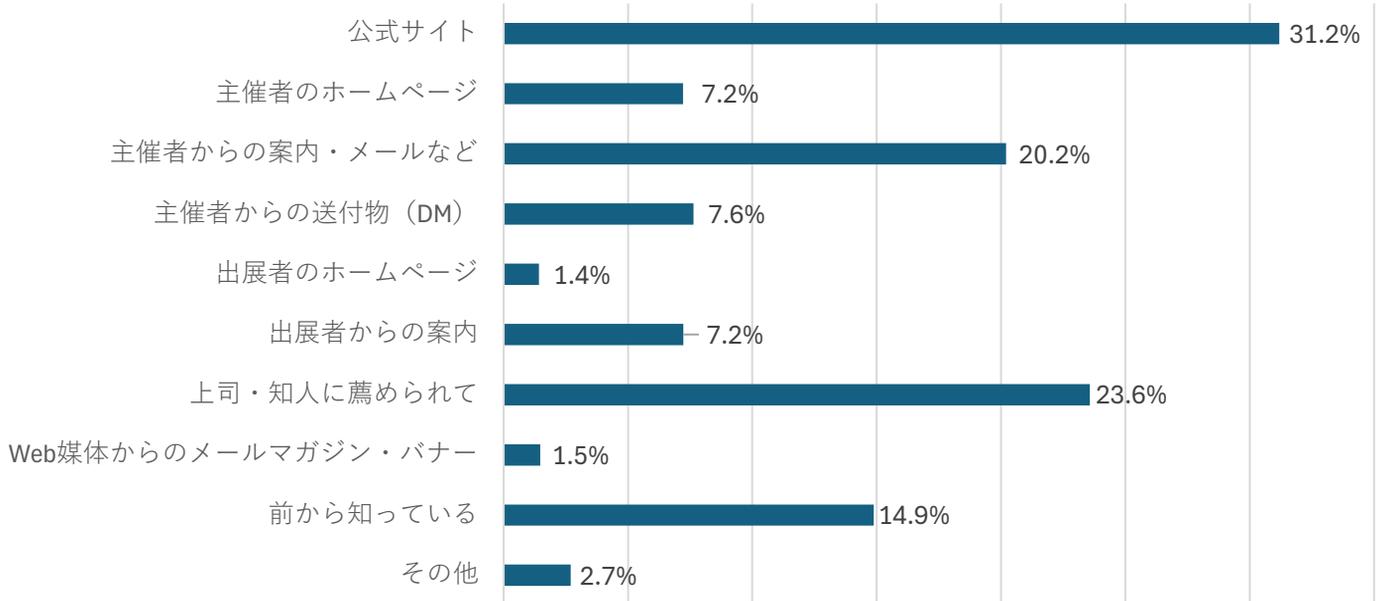
職種



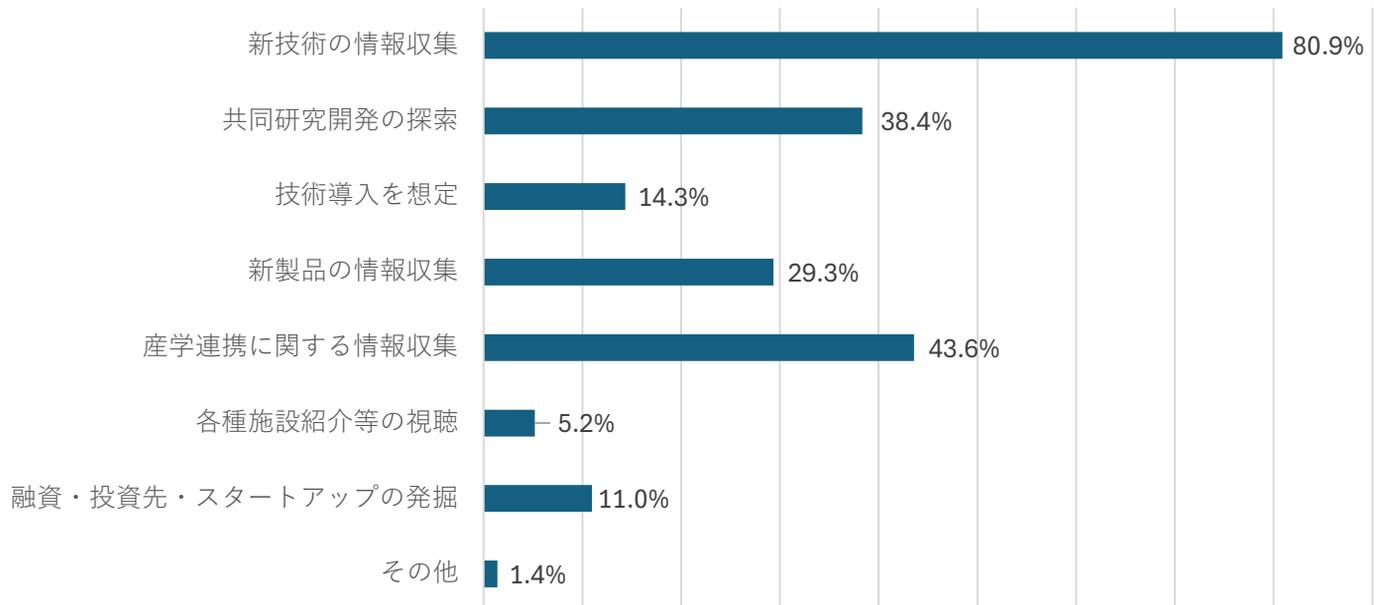
役職



展示会情報入手経路（複数回答可）



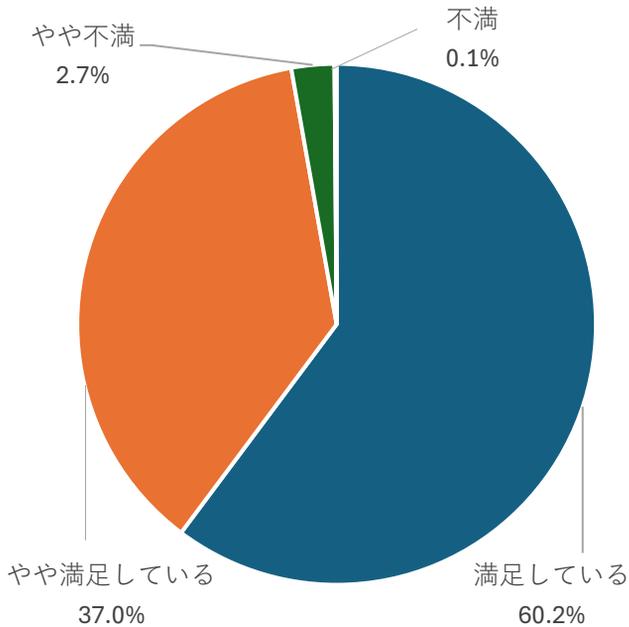
来訪目的（複数回答可）



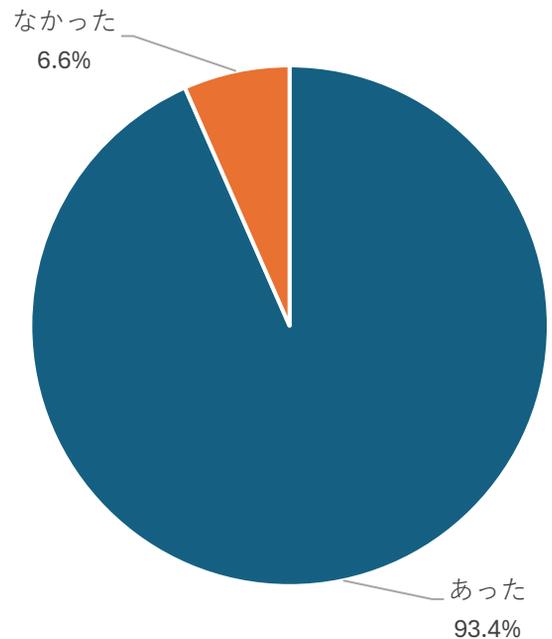
- 調査方法：「大学見本市2024～イノベーション・ジャパン」来場者を対象とした自記入式アンケート（WEB）
- 有効回答数：2,281 件

「満足している」「やや満足している」合計で97.2%と前年（96.6%）よりも満足度が上昇した。内、「満足している」の割合も60.2%と、前年コロナ禍後4年ぶりとなった会場開催時（55.2%）より上昇している。

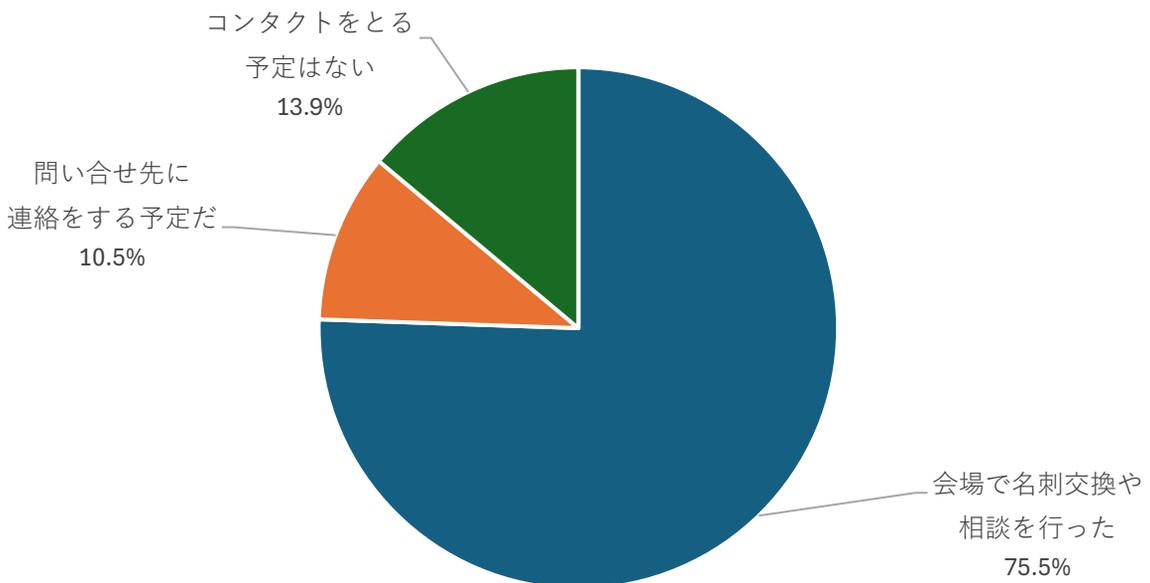
満足度



関心をもった技術・研究課題有無



出展者とのコンタクト



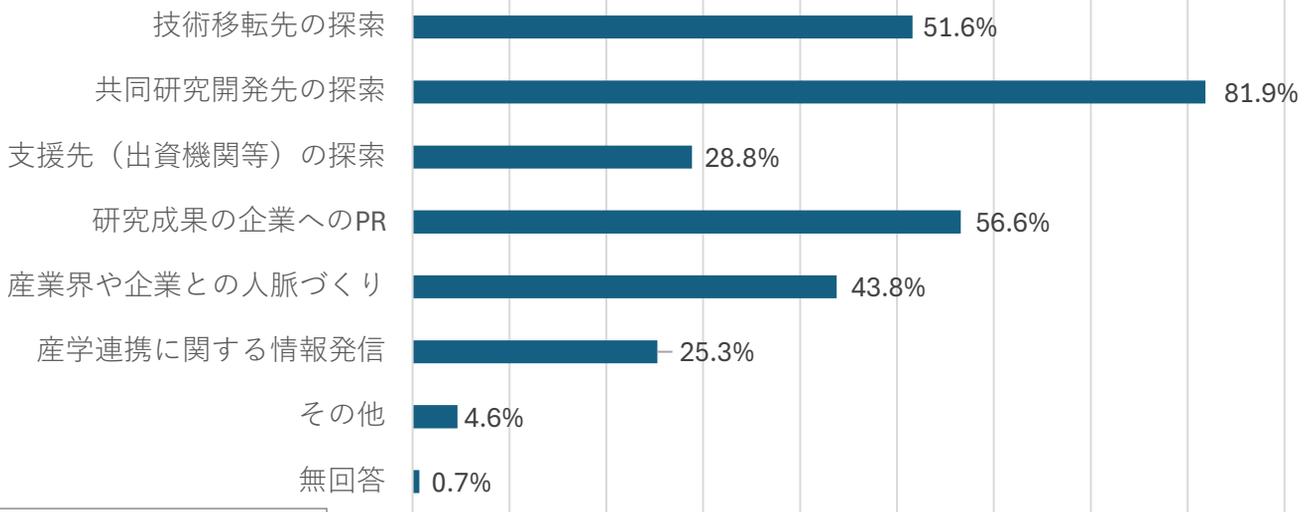
6.出展者アンケート調査結果



- 調査方法：「大学見本市2024～イノベーション・ジャパン」出展者を対象とした自記入式アンケート（紙）
- 有効回答数：281 件

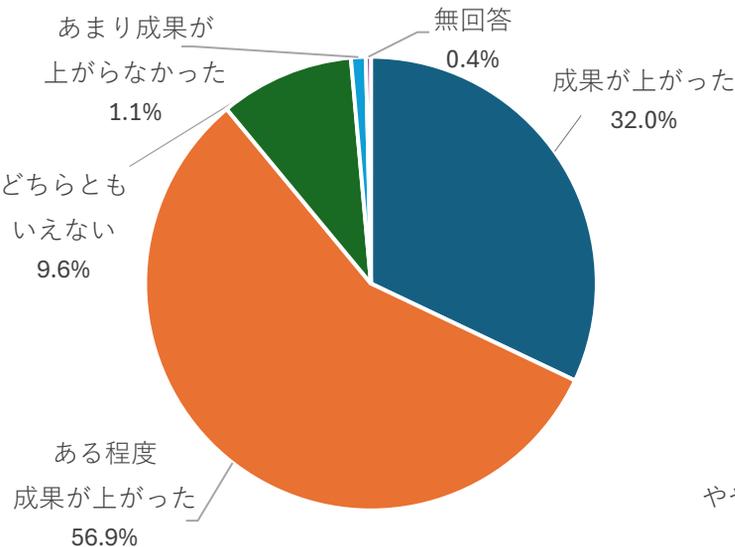
「満足している」「やや満足している」合計で98.6%（前年と同値）と引き続き高い満足度となった。出展目的に対する成果については「成果があがった」「ある程度成果が上がった」あわせて88.9%（前年90.8%）と昨年同様対面形式での会場開催が成果に繋がっている。

出展目的（複数回答可）

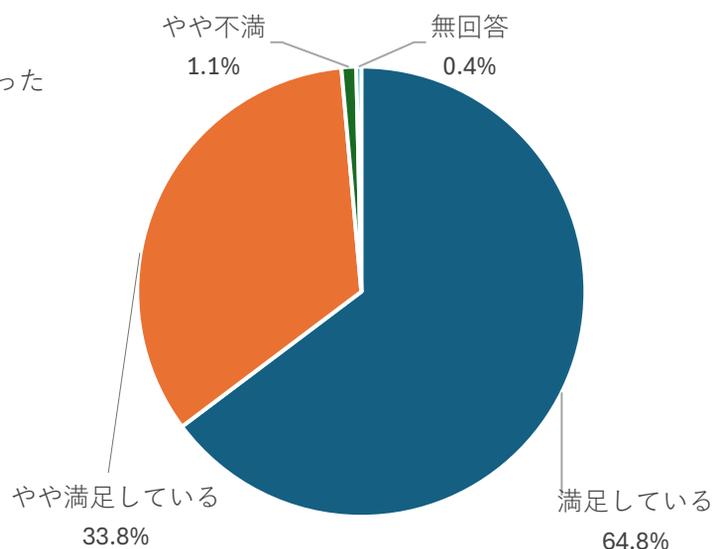


有効回答数：281件

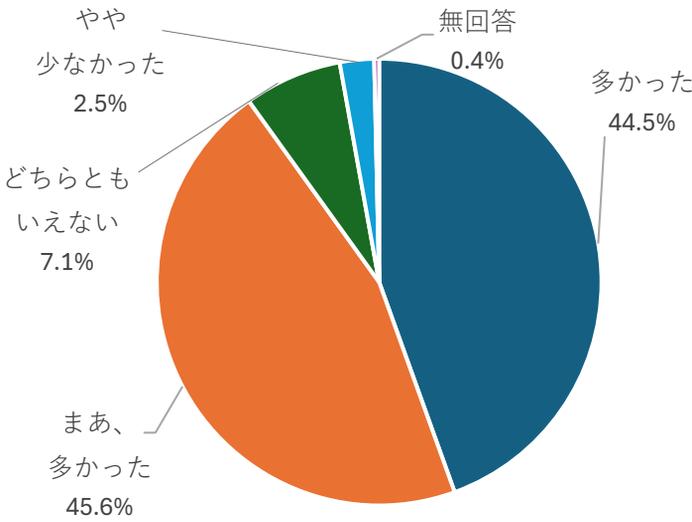
出展目的に対する成果



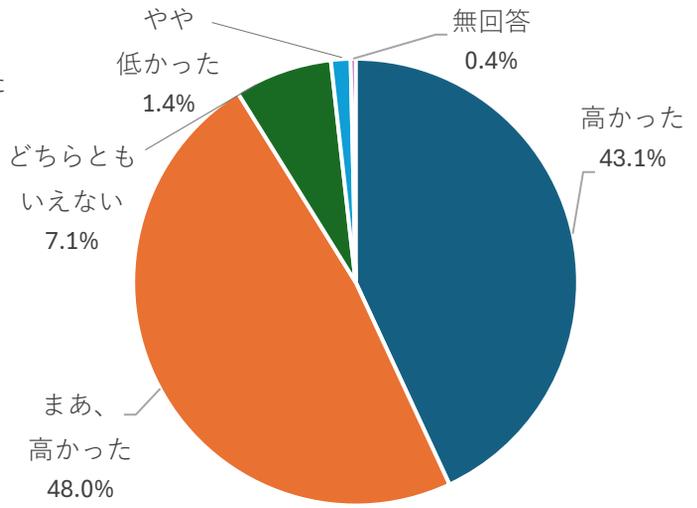
満足度



来場者数についての感想

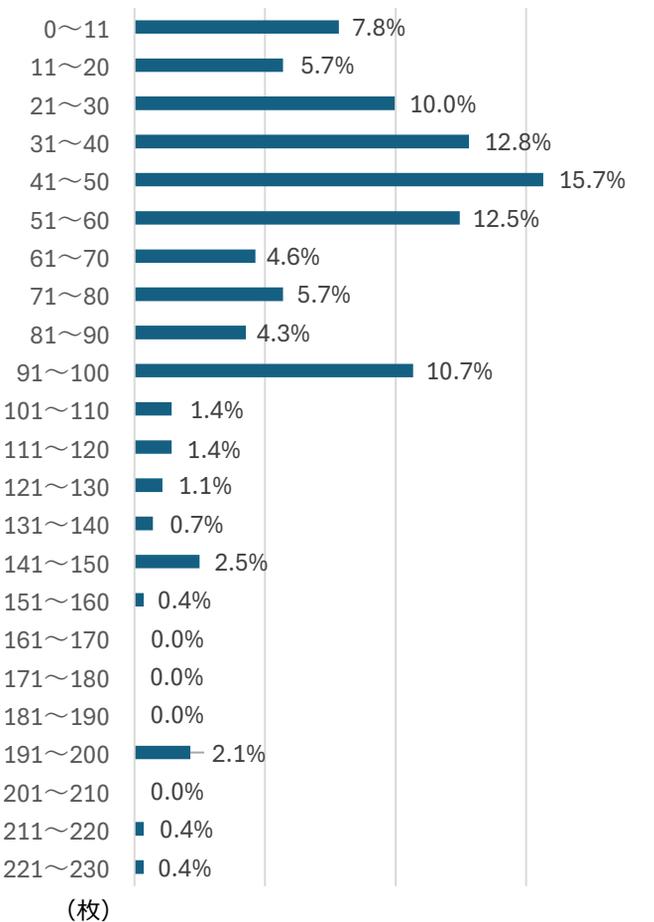


展示された内容に対する来場者の関心



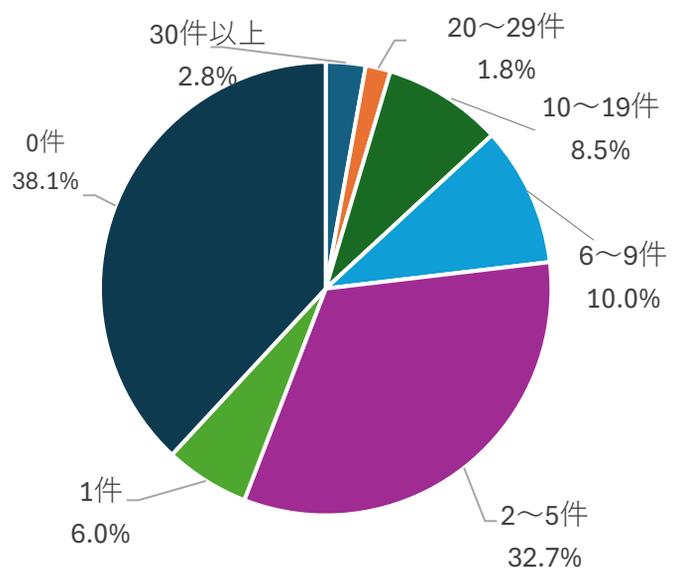
交換した名刺の数

※0件は無回答を含む



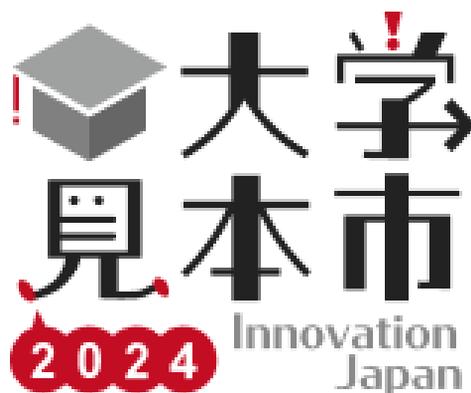
会場での商談・交渉の件数

※0件は無回答を含む



■WEB広告

日本最大級 産学連携マッチングイベント！



2024 Innovation Japan

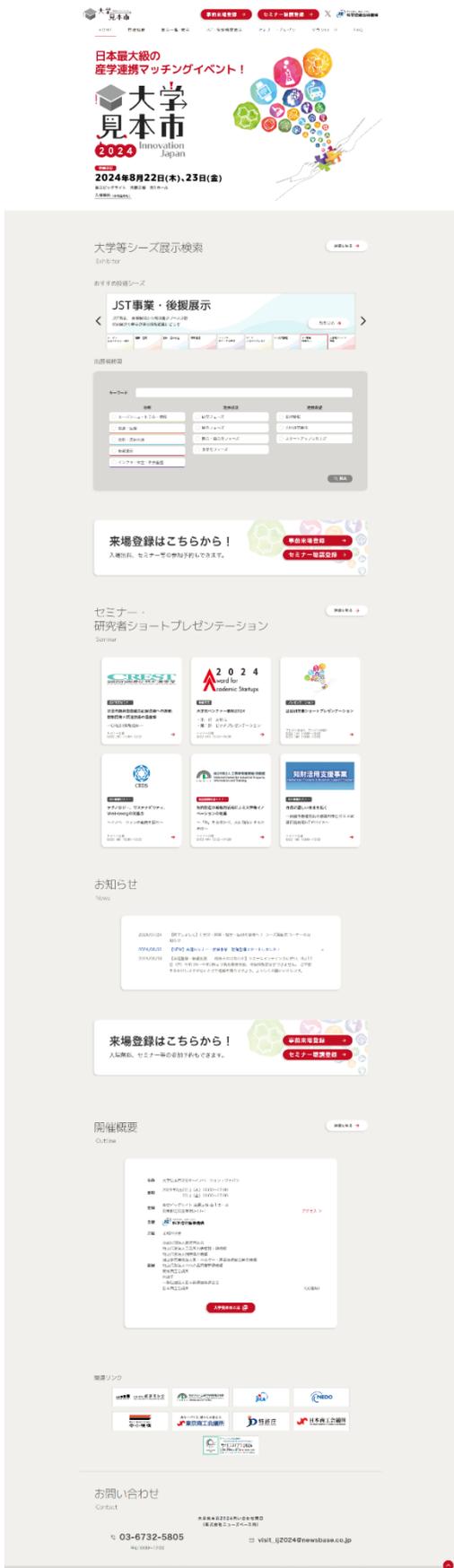
主催：国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）

2024年8月22日(木)、23日(金)
10:00～17:00 東京ビッグサイト
入場無料（来場登録制）

●レクタンブル：日刊工業新聞電子版 2024年7月22日～8月4日まで
W300×H250

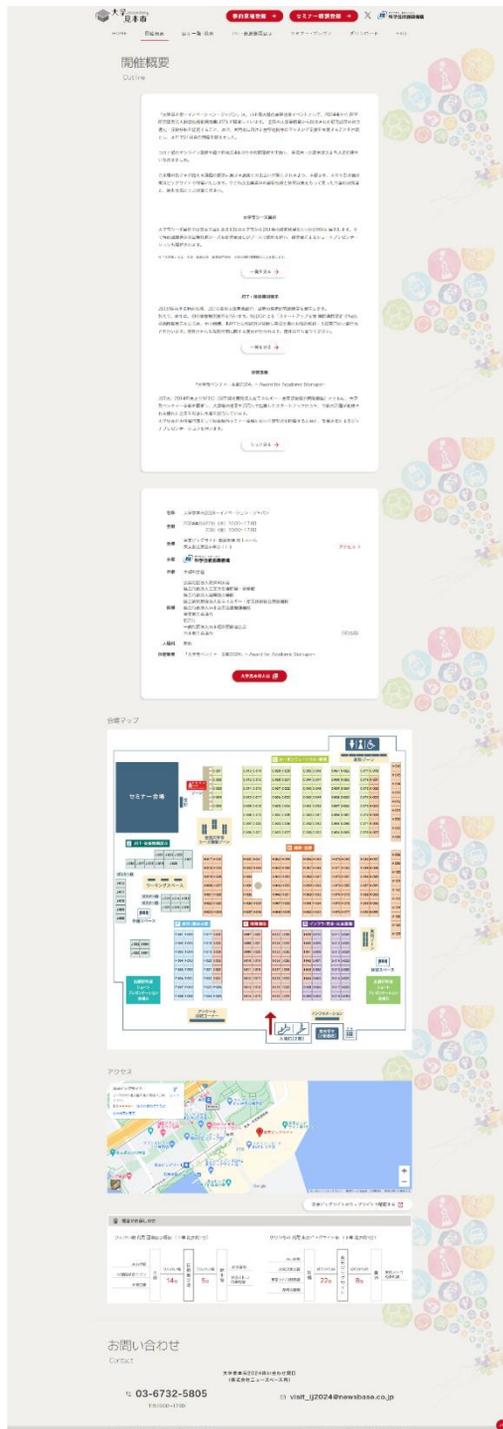
TOPページ

開催概要



The homepage features a navigation bar with 'HOME', '開催概要', 'セミナー', '来場登録', and 'お問い合わせ'. The main content includes:

- 日本最大級の産学連携マッチングイベント!** (Japan's largest industry-academia matching event!)
- 大学見本市 2024 Innovation Japan** (University Innovation Japan 2024)
- 2024年8月22日(木)・23日(金)** (August 22nd (Thu) and 23rd (Fri) 2024)
- 大学等シース展示検索** (University search) with a filter for 'JST事業・後援展示' (JST projects/sponsored displays).
- 来場登録はこちらから!** (Register here!) with a button for 'セミナー・後援登録' (Seminar/sponsored registration).
- セミナー・研究者ショートプレゼンテーション** (Seminar/Researcher short presentation) with a grid of event cards.
- お知らせ** (Notice) section with a list of recent updates.
- 開催概要** (Event overview) section with an 'Outline' tab.
- お問い合わせ** (Contact) section with a 'Contact' tab.



The overview page provides detailed information about the event:

- 開催概要** (Event Overview) with an 'Outline' section containing text about the event's purpose and goals.
- セミナー・後援** (Seminar/Sponsored) section listing various participating organizations and their roles.
- 来場登録** (Registration) section with a '来場登録はこちら' (Register here) button.
- セミナー** (Seminar) section listing various seminars and presentations.
- 会場マップ** (Venue Map) showing the location of the event at the National Convention Center Nagano.
- アクセス** (Access) section with a map and directions to the venue.
- お問い合わせ** (Contact) section with a 'Contact' tab and contact information: 03-6732-5805 and visit_ij2024@newsbase.co.jp.

■ 大学見本市とは (PDF)

大学見本市とは

事業概要

「大学見本市～イノベーション・ジャパン」は、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が知財活用支援事業として2004年から開催しています。全国の大学等機関から創出された研究成果の社会還元・技術移転を促進すること、及び、実用化に向けた産学連携等のマッチング支援を実施することを目的とし、日本最大級の本事業は2024年で21回目の開催になります。

「大学見本市 2023 ～イノベーション・ジャパン」開催結果

「大学見本市 2023 開催結果報告書」より抜粋 https://www.jst.go.jp/it/fair/doc/report/report_ij2023.pdf

開催概要

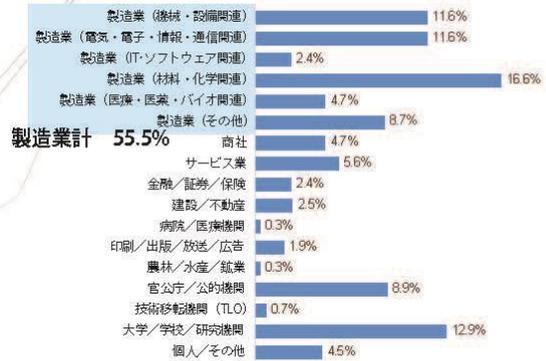
- 会期 2023年8月24日(木)～25日(金)
- 会場 東京ビッグサイト南1ホール
(東京都江東区有明3-11-1)
- 主催 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
- 共催 内閣府、文部科学省
- 後援 一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人
経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

併催事業

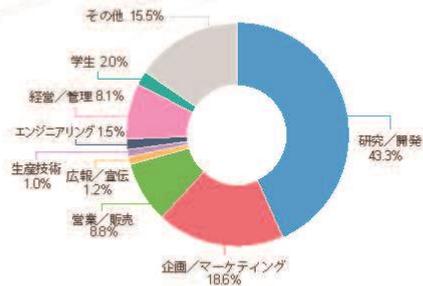
大学発ベンチャー表彰2023 表彰式
ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム

来場者数 10,432人【会期2日間のべ人数】

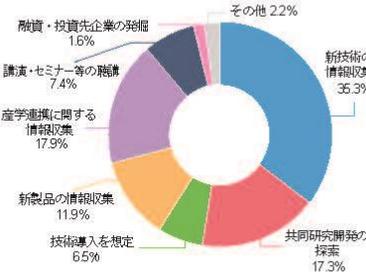
来場者業種



来場者職種



来場目的



具体的にに関心を持った 技術・研究の有無



2023 年会場風景



お問合せは
こちら

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
スタートアップ・技術移転推進部 大学見本市担当
ttevent@jst.go.jp

大学
見本市
Innovation
Japan

科学を愛し、未来へつなぐ
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

■ 展示一覧・検索

[HOME](#)
[開催概要](#)
[展示一覧](#)
[検索](#)

最新発表登録

セミナー・講演登録

科学技術振興機構

[JST 後援情報掲載](#)
[セミナープレゼン](#)
[ダウンロード](#)
[FAQ](#)

大学等シース展示検索

Exhibitor

キーワード

分類	選択状況	選択履歴
<input type="checkbox"/> カーボンニュートラル・環境	<input type="checkbox"/> 研究フェーズ	<input type="checkbox"/> 後継研究
<input type="checkbox"/> 健康・医療	<input type="checkbox"/> 開発フェーズ	<input type="checkbox"/> 共同研究開発
<input type="checkbox"/> 食料・農林水産	<input type="checkbox"/> 製造・商品化フェーズ	<input type="checkbox"/> スタートアップ立ち上げ
<input type="checkbox"/> 情報通信	<input type="checkbox"/> 事業化フェーズ	
<input type="checkbox"/> インフラ・安全・社会基盤		

最新結果: 300件 / 300件中

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-001

樹幹中で粒子を電氣的に並べる技術で放熱問題に挑む

九州大学 大学院システム情報科学研究科 電気システム工学部門 末廣 中野 中野 中野 中野 中野

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-002

レーザー照射によるプラスチック上セラミックス膜形成・高機能化

九州大学 システム情報科学研究科 電気システム工学部門 藤田 藤田 藤田 藤田 藤田 藤田

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-003

インバータの入出力ノイズを99%低減するノイズキャンセリング装置

秋田大学 大学院理工学研究科 電気電子情報工学専攻 湯浅 湯浅 湯浅 湯浅 湯浅 湯浅

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-004

DCマイクログリッド用高圧圧コンバータ

東京工業大学 工学部 工学系 電気電子コース 藤田 藤田 藤田 藤田 藤田 藤田

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-005

ゲートドライバ不要な半導体ハイブリッド選断器

筑波大学 教養部 物理学系 物理学専攻 高野 高野 高野 高野 高野 高野

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-006

小型人工衛星用のフォトニック電位センサ

大阪公立大学 大学院工学研究科 電子情報系専攻 教授 教授 教授 教授 教授 教授

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-007

超高効率オフグリッドEVバッテリー充電装置

神戸大学 大学院自然科学研究科/水産・未来エネルギー技術研究センター リンデンブリックリング実験/ケルナシステム-技術研究部門 助教 助教 助教 助教 助教 助教

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

● カーボンニュートラル・環境

公開番号: C-008

光・量子を活用した産学官共創社会実装拠点の紹介

筑波大学 量子研究推進センター 助教 助教 助教 助教 助教 助教

[研究フェーズ](#)
[公開情報](#)
[スタートアップ立ち上げ](#)

[もっと見る](#)

会場マップ



おすすめの技術シース

インフラ・安全・社会基盤

※ 全て特許出願済/特許取得済/特許申請中/特許出願中

[一覧を見る](#)

お問い合わせ

Contact

大学見本市2024問い合わせ窓口
(株式会社ニュースベース内)

☎ 03-6732-5805

平日10:00~17:00

✉ visit_ij2024@newsbase.co.jp

主催：大学見本市実行委員会 / 協賛：JST / 協賛：科学技術振興機構

Copyright © Japan Science and Technology Agency. All Rights Reserved.

JST採択課題出展ブース

JST採択課題出展ブース

● 採択・出展 / 小冊番号: J-035



未来社会創造事業
未来社会創造事業
「国第一の実学・安心社会の実現」推進

グラフエンバイセシング技術の社会実装に向けた挑戦
Challenges for Social Implementation of Graphene Biosensing Technology
本採択課題は、トナリ社のイノビスに委託し国産グラフエンバイセンシングデバイスの開発を進める。
https://www.jst.go.jp/mirai/program/safe-secure/PM202202.html

大阪大学
特任教授 **松本 和彦**
Osaka University
Specially appointed Professor Kazuhiko Matsumoto

共同研究者 村田製作所 部長 木村 健造

技術内容
次世代導体材料であるグラフェンは、従来の半導体材料より電子移動度が100倍以上高く、有機物に対して感度が高いため、検出対象の微量なグラフェンナノリボン構造を電極として組み立てることで検出されています。グラフェン電極には、生体・環境・産業・医療など様々なアプリケーションが期待可能であるため、タイムズ・タンパク質・遺伝子・細胞・イオンなど幅広い対象を検出可能です。半導体プロセスで製造されたセンサは、同時に多項目検出を実現します。

出展者からのメッセージ
当ブースでは、グラフェンを使った革新的なバイセンシングプラットフォーム技術について紹介しております。高感度・迅速・小型・集積化・安価という期待機能を持つ本技術は、臨床検査・医薬品開発・食品検査・水質検査など様々な分野で新たな価値を生み出すと期待されています。従って本ブースでは、未来のバイテクテクノロジーを切り拓く可能性のある本技術の社会実装に向けたロードマップや中核技術に関して、一稿に纏めてさせていただきます。

お問い合わせ
JST未来社会創造事業
https://form2.jst.go.jp/survey/3a-4a650/439675111802291c84520546a01c496&lang=ja#page/1

JST採択課題出展ブース

● カーボンニュートラル・環境 / 小冊番号: J-010



CREST
最先端科学研究推進事業 分析と安定化

プラスチックを肥料へと変換するリサイクルシステム
Recycling system that converts plastic into fertilizer
最先端技術、カーボン・ニュートラルを実現するリサイクルシステムの構築
https://www.jst.go.jp/risoken/crest/crest/1111113/111113_2022.html

千葉大学
准教授 **青木 大輔**
Chiba University
Associate Professor Daisuke AOKI

共同研究者 東北大学 准教授 神谷 浩平
千葉大学 教授 山口 竜平
大宮立大学 准教授 田村 正樹
東北大学 教授 西川 英樹
山梨大学 准教授 池田 洋一郎
神戶大学 教授 高 亮人

技術内容
誰もがその役割を担っているプラスチックを「肥料」に変えることは不可能と広く、資源循環の観点とプラスチック利用を減らす革新的なリサイクルシステムの開発が望まれています。本採択では、カーボントラップ技術の活用による「脱炭素」を実現し、モノ・エネルギー・プラスチックであるポリカーボネート肥料に変換するリサイクルシステムについて紹介いたします。

出展者からのメッセージ
本採択では、使用後に肥料に分解できる資源循環型のプラスチックの開発について紹介させていただきます。「農業プラスチックを肥料」、モノ・エネルギー・プラスチックの活用による社会への貢献を目指しています。

お問い合わせ
JST戦略研究推進部
crest@jst.go.jp

JST採択課題出展ブース

● 採択課題 / 小冊番号: J-009



CREST
最先端科学研究推進事業 共生インフラストラクチャー

SYNTHETIQ VISION: フェイク顔像検出を自動判定するプログラム
SYNTHETIQ VISION: a programme to automatically detect deepfake facial videos
本採択課題は、VisualVoice:フェイスディープフェイク・ディープフェイク検出プログラム
https://projectdb.jst.go.jp/grant/MS1930/EJECT-180604617

国立情報学研究所
教授 **山岸 順一**
National Institute of Informatics
Professor Junichi Yamagishi

共同研究者 国立情報学研究所 教授 藤原 功

技術内容
現在のディープフェイクは、本物と見分けがつかない自然な顔像や音声メディアを生成することが可能になりつつあり、ビジネス利用が期待されます。その一方、ディープフェイクとも呼ばれるように、自動生成されたメディアが不正目的に利用される場合は深刻な社会問題を引き起こしてしまいます。そこで、我々の基礎研究成果をもとに、AIにより生成された顔像を検出するツール「SYNTHETIQ VISION」を開発し、国内社会向けにサービスするという社会実装にも取り組んでまいりました。この技術とツールについて紹介いたします。

出展者からのメッセージ
国立情報学研究所が開発したディープフェイク顔像検出を自動判定プログラム「SYNTHETIQ VISION」を開発し、異なる社会実装を進めるため、SYNTHETIQ VISIONを用いたサービス実装の構築、及び、顔像を用いたユーザー認証の実装も期待されています。既に20%以上の顧客を新規した実装が進んでいます。eKYC (electronic Know Your Customer / オンライン本人確認) への応用も期待されます。
ご興味がある方はぜひお立ち寄りください。

お問い合わせ
JST戦略研究推進部
crest@jst.go.jp

JST採択課題出展ブース

● 採択課題 / 小冊番号: J-010



さきかけ PRESTO
さきかけ 創られるAI

個人特定に繋がりやすい情報を活用しない、人物状態推定
Pseudo Privacy Preserving data-based Human State Estimation
採択課題は、個人特定に繋がりやすい情報を活用しない人物状態推定
https://www.jst.go.jp/risoken/presto/project/1112090/1112096_2022.html

慶応義塾大学
准教授 **五ノ川 麻理子**
Keio University
Associate Professor Mariko Isogawa

技術内容
「個人特定に繋がりやすい情報を活用しない、人物状態推定システムの構築」に取り組んでいます。具体的には、シミュレーションや画像、イベントカメラやマイクセンサーなどを用いて計測した様々な情報に基づいて、人物の姿勢や形状などを推定する研究を複数行っています。通常のカメラで撮影したデータと追加して、個人状態推定が行いやすいことが利点です。また、様々なデータを用いることで省メモリ・省電力である手法や、可視性を用いないことにより高信頼性・高耐震性を有する手法も研究しています。

出展者からのメッセージ
「個人状態推定に起因しつつ、人物の状態を推定したい」というニーズをお客様であられ、ゼロベースを踏まえていただきました。また、国内での個人監視や、監視、エンターテインメント、実務的用途、等のアプリケーションを想定しておりますが、それ以外でもぜひご活用いただけたらと思います。今後の登場予定：当テーマに関連して、国内最大級のコンピュータビジョン分野のシンポジウムAMR2024にてチュートリアル講演を予定しています。

お問い合わせ
JST戦略研究推進部
crest@jst.go.jp

JST採択課題出展ブース

● 採択課題 / 小冊番号: J-011 (08/22/2)



CREST
最先端科学研究推進事業 共生インフラストラクチャー

人に気づきを与え分かり合える人工知能技術
AI for enhancing people's mutual understandings
採択課題は、「顔」を用いた感情認識、音声認識による感情認識、テキスト認識による感情認識
https://projectdb.jst.go.jp/grant/JST-PROJECT-19209664

慶応義塾大学
教授 **今井 倫太**
Keio University
Professor Michita Imai

共同研究者 東京大学 教授 梶田 一博
慶応義塾大学 教授 佐藤 正樹
慶応義塾大学 教授 杉浦 光晴

技術内容
会話の文脈や顔の状況から人工知能は理解し理解できるようにする必要があります。しかし、人間の文脈・状況理解は、迅速と、簡潔とし、先入観の影響や個人に偏り、人工知能が早く理解とは異なることがあります。本採択では、各個人の理解がどう可能性を考慮して人に情報を提示し、人に気づきを与え、人と、人とロボットの対話を含めるコミュニケーションを実現する人工知能技術を紹介いたします。

出展者からのメッセージ
展示される技術の仕組みは、他のサービスに導入すると様々な問題が起きるかと懸念しています。研究結果の検証や議論の他に、オンラインコミュニケーションのサービスへの導入、コミュニケーションロボットの設計方法・設置の導入・相談も可能です。

お問い合わせ
JST戦略研究推進部
crest@jst.go.jp

JST採択課題出展ブース

● インフラ・安全・社会基盤 / 小冊番号: J-011 (08/23/3)



さきかけ PRESTO
さきかけ 創られるAI

回答バイアスに頑健な比較型非認知能力測定技術
Comparative Measurement of Non-cognitive Ability Resistant to Response Bias
採択課題は、非認知能力の測定AIの開発を進める研究
https://www.jst.go.jp/risoken/presto/project/1112096/1112096_2021.html

東京大学
准教授 **岡田 謙介**
The University of Tokyo
Associate Professor Kensuke Okada

共同研究者 神戸大学 准教授 分岐 介介

技術内容
信頼される心理・教育テスト開発の一環として、回答バイアスに頑健な非認知能力等の心理測定法を開発しています。この種のテストはロケット（評定法）法で実施されてきましたが、とくに就職や入学、司法試験、医学的診断等に利用される選別検査や心理検査においては、回答者が自身をよく見せようとする社会的望ましさをバイアスが大きな問題でした。比較型の尺度構成法と設計モデルを用いた本技術では、社会的望ましさが事前に検出された短時間比較により、信頼性と実測の容易さを両立できる心理測定法を実現します。

出展者からのメッセージ
知能テスト、自己評価、選別性、選別性といった非認知能力は、学業成績や職業的成功だけでなく、円滑な対人関係や生活満足度にも影響を及ぼすことが明らかになってきています。その信頼性が広く社会に活用されるためには、学校教育や社会の人員育成などで広く使われています。本技術は選別検査に代わって社会実装や人材開発、心とからだの健康増進をはじめ、多様な目的で活用いただくことを想定しております。今後の登場予定：応用科学アカデミー「ヒト心理基礎」講義、日本行動科学学会九州ワークショップ「比較型心理測定法の設計モデルと尺度構成法」; 登壇

お問い合わせ
JST戦略研究推進部
presto@jst.go.jp

JST採択課題出展ブース

● 観覧・観測 / 小冊番号: J41210 **JST採択課題出展ブース**

ACT-X ACT-X 放射化ハードウェア

水添加のみで解析！無電化地域を想定した超早期感染検査技術
 Only water addition operation! Early infection testing technology for non-electrified areas
 採択課題: 超早期感染検査技術の放射化ハードウェアの開発
<https://projectdb.jst.go.jp/grant/JST-PR01/ECT-2146818/>

量子科学技術研究開発機構
 博士研究員 木村 雄亮
 National Institutes for Quantum Science and Technology
 Postdoctoral Researcher Yusuke Kimura

技術内容
 解凍ウイルス遺伝子の検出により、感染経路を早期かつ超早期段階で診断できるポイントオブケア検査デバイスを開発しました。簡便な検査方法は、野山など電源が利用できない地域での検査に活用でき、医療従事者だけでなく市民にも使用できます。最大の特長として、水の添加のみで検出反応が実現できるため、電化設備を一切用いないため、これまで困難であった、無電化地域を含む遠隔地での検査設備導入が可能となります。

出展者からのメッセージ
 無電化地域以外にも、例えば高圧電線での電線の超早期検出など、様々な現場に応用できる技術であると期待しております。実用化に向けた検証や実証実験など、ご要望に応じてご対応いたします。特にデバイスの使用も検討頂ける方、生体応用でのデバイス開発をお手伝いできる方、実用化に向けた検証や実証実験など、ご要望に応じてご対応いたします。特にデバイスの使用も検討頂ける方、生体応用でのデバイス開発をお手伝いできる方、実用化に向けた検証や実証実験など、ご要望に応じてご対応いたします。

お問い合わせ
 JST戦略研究推進部
 act-x@jst.go.jp

● 観覧・観測 / 小冊番号: J41220 **JST採択課題出展ブース**

ACT-X ACT-X 生体と化学

培養から移植まで！生体内環境を模倣したタンパク質ゲル材料
 Engineered Protein Hydrogels as Extracellular Matrix Mimics
 採択課題: 生体内環境を模倣したタンパク質ゲル材料の開発
<https://projectdb.jst.go.jp/grant/JST-PR01/ECT-2034447/>

量子科学技術研究開発機構
 主任研究員 大山 智子
 National Institutes for Quantum Science and Technology (QST)
 Principal Researcher Tomoko G. Oyama

技術内容
 化学系を一切変わずにタンパク質をつなげてゲル化する新技術で、in vivoでの実験をぐっと近づける新材料を開発しました！生体内環境（細胞外マトリクス）の成分・構造・形状を模倣することで、マウスでは見ることができない多様な細胞挙動を引き出す培養基材として活用できます。また、その生体適合性・生分解性を活かし、培養した細胞を移植するための足場や、移植体開発の培養基材としても利用できます。

出展者からのメッセージ
 細胞培養材料や生体材料として広く活用されているポリマーだけでなく、細胞を移植するための足場材や創薬材料、産薬防止剤、移植体開発の基盤材料としての実用化も期待されています。生命科学、創薬開発、産薬防止剤、再生医療、個別医療、医薬品開発、化粧品開発、環境・物質評価、食料・資源生産などに幅広く役立つ材料です。製品化に向けた相談をさせていただきます！

お問い合わせ
 JST戦略研究推進部
 act-x@jst.go.jp

● 観覧・観測 / 小冊番号: ボスター-観測 **JST採択課題出展ブース**

CREST 先端物質探索

多機能中間層によるマルテンサイトエピタキシー技術と製品化
 Martensite epitaxial technology and commercialization using multi-functional interlayer
 採択課題: 多機能中間層によるマルテンサイトエピタキシー技術の開発
https://www.jst.go.jp/lookbook/crest/crest/111116/11111116_2022.html

東京大学
 教授 田端 仁
 The University of Tokyo
 Professor Hitoshi TABATA

共同研究員 株式会社Geminix CSO 水島 健
 東京大学 工学部 理 工学部
 東京大学 特任准教授 山田 弘樹

技術内容
 超硬、超弾性、超熱安定性、超導電性を併せ持つマルテンサイトエピタキシー技術を開発し、多機能中間層によるマルテンサイトエピタキシー技術により多機能材料の製品化に成功し、得られた電圧エピタキシー技術は世界最高性能を示す超硬・超弾性を実現しています。

出展者からのメッセージ
 シリコンウェーハ（12インチ）に成長する1層目材料との間に「多機能中間層」を成長させる事で格子定数を合わせた準結晶を形成します。最大の特長は従来の材料成長の応力や熱膨張係数に比べて、超弾性・超導電性を併せ持つマルテンサイトエピタキシー技術により多機能材料の製品化に成功し、得られた電圧エピタキシー技術は世界最高性能を示す超硬・超弾性を実現しています。

お問い合わせ
 JST戦略研究推進部
 crest@jst.go.jp

● インフラ・安全・社会基盤 / 小冊番号: ボスター-観測 **JST採択課題出展ブース**

ACT-X ACT-X 放射化ハードウェア

楽しくデータを集めよう！アノテーション支援システム
 Let's have fun collecting data! Annotation support system
 採択課題: 生活圏内データアノテーション支援システム開発
<https://projectdb.jst.go.jp/grant/JST-PR01/ECT-23282880/>

奈良先端科学技術大学院大学
 助教 松井 智一
 Nara Institute of Science and Technology
 Assistant Professor Tomokazu Matsui

技術内容
 機械学習の精度を向上させるためには、正解データの質や量が重要です。多くの場合、リアクターと呼ばれる人が仕事として正解データを作ります。ただし、社内行動認識のデータについては情報が異なり、第三者が他人のデータを覗き、不正なデータを作ったりすることがあります。さらに、誤入力やデータが異なることから、他のデータのデータが不正なデータも混入することがあります。本システムでは、誤入りを検知可能なアノテーションを行ってもらうことで、データ品質・認識精度・システム信頼性の向上を図ります。

出展者からのメッセージ
 大規模なデータセットを扱う際には、「人からデータを集める」必要があるシーンは様々な分野で存在します。人と対象とするシステムでは、対象となる人だけでなく感じ方なども重要であり、そのようなデータは高い価値を持ちます。本システムでは、人に教えずともデータを集めることを目指しています。楽しみがあることで継続的に利用され、持続的なシステム運用が可能となります。将来的には社内行動認識のみならず様々な「人からデータを集める」状況に応用できると考えています！

お問い合わせ
 JST戦略研究推進部
 act-x@jst.go.jp

● カーボンニュートラル・環境 / 小冊番号: ボスター-観測 **JST採択課題出展ブース**

ACT-X ACT-X 放射化ハードウェア

液中微量物質の自動検出を目指した液体操作システム
 Liquid manipulation system toward automatic detection of trace substances in liquid
 採択課題: マイクロボットを用いた微量物質検出システム
<https://projectdb.jst.go.jp/grant/JST-PR01/ECT-21468360/>

産業基盤総合研究所
 研究員 矢野 浩規
 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
 Researcher Hiroki Yasuga

共同研究員 京大の女子大学 教授 奥村 剛
 産業基盤総合研究所 研究チーム長 竹井 裕介

技術内容
 トイレの水や下水などからヒト血中の微量な分子情報を取得することが可能になれば、地域の感染症のまん延情報の取得や、患者個人の健康状態の非侵襲的なモニタリングなど、様々なシステムにつながります。我々は、そのような情報取得を可能とするIoT型の分子センサーの実現を目指し、測定対象液体から自動的に一定量の液体を回収し、自動で成分解析を行う装置の開発を行っています。

出展者からのメッセージ
 液中微量分子を検出する、化学センサやバイオセンサのIoT化は、感染症などの脅威から解放された安全・安心社会の実現に貢献します。ともに社会実装に取り組んでいただける、化学・バイオセンサやフィールド実験に備わったラボプラットフォームを探しております！

お問い合わせ
 JST戦略研究推進部
 act-x@jst.go.jp

● カーボンニュートラル・環境 / 小冊番号: J414 **JST採択課題出展ブース**

A-STEP A-STEP
 Advanced Swirling Flow Relative Velocity Measurement System

低騒音プロペラ開発のための3次元旋回流相対速度計測システム
 3D Swirling Flow Relative Velocity Measurement System for Low Noise Propeller Development
 採択課題: 低騒音・低振動プロペラ開発のための3次元旋回流相対速度計測システムの実現
<https://www.jst.go.jp/a-step/>

筑波大学
 教授 堀江 昌朗
 Setsunan University
 Professor Masaaki Horie

技術内容
 クレーンやポンプ、ファンやターボプロペラなどの流体機械で生じる旋回流中の渦やキャビテーションは、騒音や振動による装置の故障の原因となるだけでなく流体機械の性能低下を引き起こすため、これらの流動状態の解明が重要な課題です。本研究は回転体相対速度計測システムを開発し、旋回流に適用し、高精度高速度を含む旋回流を高精度で2次元相対速度として計測できる高機能な旋回流計測システムの実現化を目指します。本技術により渦や流況による騒音や振動を低減し、付加価値の高い高性能流体機械の開発に大きく貢献します。

出展者からのメッセージ
 本計測システムにより実用化用途の大型ドローンやファンやターボプロペラ、発電機のタービンや風車、送風機や水中ポンプなどの流体機械の騒音・振動の低減や高精度計測のための旋回流の流動状態を高精度で計測でき、画像解析から抽出された3次元相対速度を基に騒音・振動源の特定や流体機械の性能向上に貢献します。基本技術の特許出願を終え、2年後の技術報告を目標として稼働しています。本研究の追加と研究開発後の社会実装を目指し、連携し頂ける企業・製品メーカーなどの企業や関係機関の検索を広く募集します。

お問い合わせ
 JSTスタートアップ・技術情報推進部 研究支援グループ
<https://form2.jst.go.jp/survey?e-fdd4c986d4e63263363ed45e7b0c1af7e0878&tag=ja#page/1>

■ JST採択課題出展ブース

● インフラ・安全・社会基盤 小冊子番号: J-004 JST採択課題出展ブース

A-STEP
A-STEP
Advanced Startup Training Program
マッチングファンナープログラム

昆虫の光源定位の原理に根ざした誘引/忌避光源の開発
 Development of LED light sources that lure/deter flying insects based on their behavioral principles

北海道大学
助教 西野 浩史
Hokkaido University
Assistant Professor Hiroshi Nishino

共同研究者 FKK株式会社 代表取締役社長 川田 一夫

技術内容

多くの昆虫は夜間に人工光源に誘引されるが、その理由は未だに解明されておらず、ネイチャーボジティブに設計した誘引/忌避光源開発の課題となっています。森林面積が拡大し、夏の短い北海道では大型の蚊類（マイマイガやスズランなど）が無断的に大発生します。本ブースでは、蚊の大発生時期にライトトラップによるサンプリングを行うことで、光源定位の原理的な理解と最適な光波長や照射角を算出した誘引光源の開発を同時に進める「一石二鳥」の取り組みをご紹介します。

出展者からのメッセージ

活や、虫の大発生がたびたびニュースを賑わせるようになりました。人の目につくようになる原因の一端には昆虫が敏感目覚して作られたまで残ってしまう可能性があります。この行動原理をもっと深く理解できれば、よりよい誘引/忌避光源の開発につながるはずです。本ブースでは北海道で定期的に起こる大型の蚊の大発生をチャンスとらえ、誘引LED光源の開発に活かす取り組みをご紹介します。トラップで捕獲される蚊の量は膨大なもので、これを原料として利用できないか、ともご紹介します。

お問い合わせ

JSTスタートアップ・技術移転推進部 地域イノベーショングループ
☎ 03-5561-0010

後援機関展示

JST・後援機関事業展示ブース

小冊番号：J-001

後援機関展示

Be a Great Small 中小機構
Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN

中小企業基盤整備機構 (中小機構)
Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN
<https://www.smrj.go.jp/ventures/index.html>

事業、展示概要
中小機構では、起業前から事業拡大期までステージに応じて、全国29カ所で開催しているインキュベーション施設の設備、専門家を活用したアクセラレーション事業や相談対応事業、WEBを活用した大企業・中小企業等とのビジネスマッチングなど、様々な支援メニューを提供しています。スタートアップや起業予定の方の事業化に向けたご相談、事業計画や資金調達等のご相談に対応しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

出展者からのメッセージ
中小機構ブースでは、経験豊富な専門家がさまざまな事業化や資金調達（補助金・助成金含む）等のご相談に無料で対応させていただきますので、お気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせ
中小機構 創業・ベンチャー支援部 ベンチャー支援課 ソフト支援科
☎ 03-5470-1574

小冊番号：J-002

後援機関展示

Plus
新エネルギー・産業技術総合開発機構
New Energy and Industrial Technology Development Organization

Plus (Platform for unified support for startups) 政府系16機関連携スタートアップ支援プラットフォーム
Plus (Startup support platform in collaboration with 16 government agencies)
<https://startups.nedo.go.jp/plusone/>

事業、展示概要
NEDOを含む政府系16機関は、スタートアップ支援を目的として、「スタートアップ・エコシステムの形成に向けた支援に関する協定書」を締結し、スタートアップ支援に関するプラットフォーム（通称Plus（プラス）「Platform for unified support for startups」）として連携しています。
ご参加の場・フェーズにあわせた各種支援制度のご紹介等を行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。

出展者からのメッセージ
NEDOの窓口となりワンストップ相談窓口「PlusOne」を運営しています。
政府機関の支援制度が分かることと数少ないですが、どのような事業を運営すればいいかわからない、「誰に相談すればいいかわからない」というお悩みをお持ちの方はぜひお問い合わせください。

お問い合わせ
NEDO スタートアップ支援部 Plus担当
<https://startups.nedo.go.jp/plusone/>

小冊番号：J-003

後援機関展示

特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

オープンイノベーション促進のためのモデル契約書
Model Contract for Promoting Open Innovation
https://www.jpo.go.jp/support/general/innovation_portal/index.html

事業、展示概要
オープンイノベーション促進のためのモデル契約書は、2019年6月に公正取引委員会が公表した製造業者のノウハウ・知財権を明確化した実務調査などをきっかけとして作成されました。従来の契約の型との大きな違いは、具体的なビジネスストーリーが前提にあるという点で、契約で口頭すべき留意点と取引シーンを設定して、そのケースにおいて益と弊とを考えると考えられる契約の在り方を「モデル」という言葉で表現しています。「社会価値の創出の最大限」を目指すべき価値とし、win-winとなるような契約の在り方を提示しています。

出展者からのメッセージ
展示では、オープンイノベーション促進のためのモデル契約書（大企業）の解説パンフレット及び大学と企業等のオープンイノベーション促進のためのアプローチを配布しております。特許庁で行っている海外展開支援策である「海外展開支援策（海外展開支援策）」や、主に中小企業を対象とした知財に関する様々な支援策も目まぐるしく「知財支援策まるかぶりガイド」も配布しております。併せてご覧ください。

お問い合わせ
総務部企画課 活用企画課
ip@jpo.go.jp

小冊番号：J-004

後援機関展示

工業所有権情報・研修館 (INPIT) 知財活用支援センター
National Center for Industrial Property Information and Training (INPIT)

中小企業・スタートアップ・大学の知財支援は無料のINPIT!
National Center for Intellectual Property Management support to SMEs, Startups and Universities
<https://ch2ai-portal.inpit.go.jp/>

事業、展示概要
INPIT（インピット）は、経済産業省所管の独立行政法人で、知的財産の総合支援機関です。知財財産の権利取得から活用まで幅広くサポートする「INPIT知財総合支援窓口」を全国に設置しており、中小企業やスタートアップ、大学等から14万回超の相談をいただいています。それ以外にも、大学やスタートアップに対して知財財産の専門家による支援を行うプログラムや、知財財産に関する情報提供（J-IPePat）、eラーニング（IP ePat）などを無料で提供しています。ぜひご利用ください。

出展者からのメッセージ
INPITは、経済産業省所管の独立行政法人で、知財財産の総合支援機関です。知財財産の権利取得から活用まで幅広くサポートする「INPIT知財総合支援窓口」を全国に設置しており、中小企業やスタートアップ、大学等から14万回超の相談をいただいています。大学やスタートアップに対して知財財産の専門家による支援を行うプログラムや、知財財産に関する情報提供（J-IPePat）、eラーニング（IP ePat）なども無料で提供しています。
<https://ch2ai-portal.inpit.go.jp/>

お問い合わせ
知財活用支援センター
☎ 03-3503-6001（直通）
ip-cs01@inpit.go.jp

■セミナー_プログラム

 事前来場登録 セミナー聴講登録  JST 科学技術振興機構 						
HOME	開催概要	展示一覧・検索	JST・後援機関展示	セミナー・プレゼン	ダウンロード	FAQ
<h1>セミナー・プレゼン</h1> <p>Seminar / Presentation</p>						
8月22日 (木)						
開始時間	セミナー会場	プレゼン会場A	プレゼン会場B			
10:00						
11:00	11:00 - 12:30 JST事業セミナー 次世代超高密度磁気記録技術への挑戦: 材料開発と関連技術の最前線 ~CREST情報提供~	11:00 - 16:00 出展研究者 ショートプレゼンテーション ・カーボンニュートラル・環境 ・食料・農林水産 ・情報通信	11:00 - 16:00 出展研究者 ショートプレゼンテーション ・健康・医療 ・情報通信 ・インフラ・安全・社会基盤			
12:00						
13:00	13:30 - 15:30 研修事業 大学発ベンチャー表彰2024 ・第一部 表彰式 ・第二部 ビッチプレゼンテーション					
14:00						
15:00						
8月23日 (金)						
開始時間	セミナー会場	プレゼン会場A	プレゼン会場B			
10:00	10:30 - 12:30 JST事業セミナー テクノロジー、サステナビリティ、Well-beingの交差点 ~イノベーションの動向を掴む~					
11:00		11:00 - 16:00 出展研究者 ショートプレゼンテーション ・食料・農林水産 ・情報通信 ・カーボンニュートラル・環境	11:00 - 16:00 出展研究者 ショートプレゼンテーション ・情報通信 ・インフラ・安全・社会基盤 ・健康・医療			
12:00						
13:00	13:30 - 14:30 後援機関特別セミナー 知的財産の戦略的活用による大学発イノベーションの促進 ~「知」を芽吹かせ、共に価値にするために~					
14:00						
15:00	15:00 - 16:00 JST事業セミナー 自然に優しい未来を拓く ~耐酸性微生物菌叢の創薬利用と省エネ電源回路利用IoTデバイス~					

■ダウンロード

資料一覧

Downloads

大学見本市2024～イノベーション・ジャパンの公式ガイドブックなど各種資料をダウンロードいただけます。出展シーズ全281件の技術概要やその展示の詳細、問い合わせ先が掲載されています。是非、ご利用ください。

公式ガイドブック



ダウンロード ↓

会場マップ



ダウンロード ↓

ご案内状



ダウンロード ↓

■ FAQ

よくある質問

FAQ

参加について

Q 大学見本市に参加するにはどうすればいいですか？

A こちらのサイトから「事前来場登録」を行ってください。ご来場当日は入場証を印刷してご持参いただき、受付にてご提示ください。

[事前来場登録はこちら](#)

Q 「事前来場登録」をしましたが、登録完了メールが届きません。

A 登録フォーム送信後、すぐに「登録完了メール」が自動送信されます。メールが届かない場合は、迷惑フォルダなどに入っているか、メールアドレスが間違っている可能性があります。迷惑メール対策でメールの受信制限(ドメイン指定受信)をしている場合は、「@tenjikai-uketsuke.com」を受信許可いただくようお願いいたします。以上をご確認の上、再度ご登録をお願いいたします。

Q 1名の事前来場登録で、何名まで入場できますか？

A 1名のご登録につきご本人さまのみ入場できます。複数名でご参加の場合は、それぞれご登録をお願いいたします。

Q 代理で公式サイトから事前来場登録は可能ですか？

A 代理登録は可能です。その際、ご来場いただくご本人様のメールアドレス・個人情報をご登録ください。

Q 8月22日、23日の両日に来場したいのですが、登録は1回のみで問題ないですか。

A 問題ありません。1枚の入場証で両日入場可能です。

Q 事前来場登録をした際の登録情報を変更したいのですが。

A 登録完了メールに記載されている【来場登録の情報 確認・変更はこちら】から変更ができます。

Q 登録完了メールを削除してしまったのですが、どうすればいいですか？

A 再度、公式サイト「事前来場登録」から登録をお願いします。

[事前来場登録はこちら](#)

Q 服装の決まりなどありますか？

A 外気温が高くなることが予想されますので軽装でおこしください。主催、出展者、運営スタッフもクールビズでの対応となります。予めご了承ください。
※会場内は空調をかけております。

大学発ベンチャー表彰

大学発ベンチャー表彰2024 受賞企業発表

Award for Academic Startups 2024

2024年7月20日(第1次)と、8月6日(第2次)の2回に分けて、2024年度大学発ベンチャー表彰2024の受賞企業を発表。...

文部科学大臣賞

電子コンピュータのハードウェアの一部である、制御装置の開発・製造・販売



代表取締役 東京大学 電子工学科教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 2021年度産学連携共同研究プロジェクトで、最先端の制御装置を開発...

大学発ベンチャー賞 最先端の制御装置を開発し、製造・販売している。...

経済産業大臣賞

届がんをはじめとする難治がんに対する新たな治療モダリティとして次世代製薬業躍進



代表取締役 東京大学 理学部化学系准教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 がんをはじめとする難治がんに対する新たな治療モダリティとして...

大学発ベンチャー賞 がんをはじめとする難治がんに対する新たな治療モダリティとして...

科学技術振興機構理事長賞

教育や仕事の現場に食糧AIエージェントを推進し、社会全体の創造性や生産性の向上を実現



代表取締役 大阪大学 工学部情報理工学系准教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 食糧AIエージェントを開発し、教育や仕事の現場に導入し、社会全体の創造性や生産性の向上を実現...

大学発ベンチャー賞 食糧AIエージェントを開発し、教育や仕事の現場に導入し、社会全体の創造性や生産性の向上を実現...

新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞

映像認識のコア技術開発とエッジAIカメラソリューションの提供



代表取締役 大阪大学 工学部情報理工学系准教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 映像認識のコア技術を開発し、エッジAIカメラソリューションを提供...

大学発ベンチャー賞 映像認識のコア技術を開発し、エッジAIカメラソリューションを提供...

日本ベンチャー学会会長賞

癌の再生治療の研究開発



代表取締役 大阪大学 理学部化学系准教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 癌の再生治療の研究開発...

大学発ベンチャー賞 癌の再生治療の研究開発...

アーリーエッジ賞

新材料である2Dロジウム物質を用いた新しい半導体デバイス、電子デバイスの開発事業



代表取締役 大阪大学 工学部情報理工学系准教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 新材料である2Dロジウム物質を用いた新しい半導体デバイス、電子デバイスの開発事業...

大学発ベンチャー賞 新材料である2Dロジウム物質を用いた新しい半導体デバイス、電子デバイスの開発事業...

大学発ベンチャー表彰特別賞

現在「食のバリアフリー」を実現するアレルギー低減剤の社会貢献 に注力中



代表取締役 筑波大学 食品科学部准教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 現在「食のバリアフリー」を実現するアレルギー低減剤の社会貢献 に注力中...

大学発ベンチャー賞 現在「食のバリアフリー」を実現するアレルギー低減剤の社会貢献 に注力中...

革新的「見える」がん治療薬の薬学化による難治がん克服への挑戦



代表取締役 東京大学 理学部化学系准教授 桐原 昌博 長岡 真

事業内容 革新的「見える」がん治療薬の薬学化による難治がん克服への挑戦...

大学発ベンチャー賞 革新的「見える」がん治療薬の薬学化による難治がん克服への挑戦...

大学発ベンチャー表彰 2024

Award for Academic Startups

2024年度大学発ベンチャー表彰2024の受賞企業を発表。...

9.制作物



■表面

JSTが主催する
日本最大級の産学連携イベント
今夏も東京ビッグサイトで開催!



大学見本市 2024

イノベーション・ジャパン

入場無料
(事前来場登録制)

2024.8.22 木 10:00 | 17:00 ▶ 23 金 10:00 | 17:00

東京ビッグサイト南展示棟 南1ホール (東京都江東区有明3丁目11番1)

主催: JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構 共催: 文部科学省

後援: 公益社団法人経済同友会、独立行政法人工業所有権情報・研修館、独立行政法人国際協力機構、
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、
東京商工会議所、特許庁、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所 (50音順)

併催事業 | 大学発ベンチャー表彰 2024
~ Award for Academic Startups ~



事前来場登録受付中! 登録はこちらから
<https://innovationjapan.jst.go.jp>



■裏面

日本全国の大学等 **132** 機関から
281 件の最新技術シーズを展示!
入場無料
(事前来場登録制)

- ・研究者自らがブースに立って解説するので直接質問・相談可能!
- ・幅広い5分野の展示で他展示会ではない意外な出会いや発見も!

大学等シーズ展示 全281件 すべて特許出願済



JST 事業展示 他

JST 事業展示や採択課題展示、また JST が保有する
特許技術紹介、後援機関による展示もあります。



セミナー 申し込みは 8月1日 から



8.22 木 JSTでも最先端の研究を支援する
CRESTから情報担体領域「超高密度
磁気記録研究での材料開発と関連技術」セミナー開催!

8.23 金 JST研究開発戦略センター(CRDS)が研究トレンド等を解説する
大人気セミナーに加え、JST知財活用支援事業保有特許のご紹介、
後援機関 INPITによる知財支援セミナー開催!

併催事業

8.22 木 大学発ベンチャー表彰 2024
~ Award for Academic Startups ~

ノミネートされた優れた大学発ベン
チャー企業及び、支援大学・支援企業
などの表彰式が行われます。



事前来場登録・セミナー申し込みはこちらから
<https://innovationjapan.jst.go.jp>

事前の来場登録をおすすめします



サイズ: ロングはがき (235mm×120mm)

日本最大級！産学連携マッチングイベント

大学見本市

2024 Innovation Japan

入場無料
事前来場登録制

東京ビッグサイト

南展示棟 南1ホール

8/22 木 23 金

[10:00-17:00]

日本全国の大学等 132機関から
5分野281件の最新技術シーズが出展！

カー・ニューモトル・電池	健康・医療	食料・農林水産	環境資源	インフラ・安全・社会基盤
78件	107件	26件	44件	26件

全て特許出願済み！

研究者自身がブースで解説するので直接相談・質問可能！
5分野の幅広い展示で他展示会ではない意外な出会いも！

事前来場登録・
セミナー申込みはこちら



<https://InnovationJapan.jst.go.jp>

お問い合わせ

大学見本市 2024 問合せ窓口 (株式会社ニュースベース内)
☎ visit_ij2024@newsbase.co.jp

主催  **科学技術振興機構**

協賛 公益社団法人近畿同友会 独立行政法人産業所有権振興・研究創 独立行政法人国際協力機構 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
独立行政法人中小企業基盤整備機構 東京商工会議所 経済庁 一般社団法人日本経済団体連合会 日本貿易振興機構 (JETRO)

共催 **文部科学省**

併催事業



大学発ベンチャー表彰 2024 8/22(木) 13:30~

※サイズ：A1

■表紙



■裏表紙



■開催概要

大学見本市2024～イノベーション・ジャパン

「大学見本市～イノベーション・ジャパン」は、日本最大級の産学連携イベントとして、2004年から国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が主催しています。全国の大学等機関から創出された研究成果の社会実装・技術移転を促進すること、及び、実用化に向けた産学連携等のマッチング支援を実施することを目的とし、本年で21回目の開催を迎えました。コロナ禍のオンライン開催を経て昨年度4年ぶりの対面開催を実施し、来場者・出展者双方より大変好評をいただきました。この場での出会いが新たな産学連携のきっかけとなることを目指し、来場者・出展者双方より大変好評をいただきました。この場での出会いが新たな産学連携のきっかけとなることを目指し、来場者・出展者双方より大変好評をいただきました。

開催概要

名称 大学見本市2024～イノベーション・ジャパン
 開催期間 2024年8月22日(木)～23日(金) 両日とも 10:00～17:00
 会場 東京ビッグサイト 南展示棟 南1ホール 東京都江東区有明1-1-1
 主催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
 共催 文部科学省
 後援 公益社団法人経済同友会、独立行政法人工務庁有権者部・研修部、独立行政法人国際協力機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、東京機工会議所、両府庁、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所(600社)

大学等シイズ展示
 大学等シイズ展示では日本全国にある132の大学等から281件の研究成果を5つの分野別に展示します。全て特許出願済みの最先端技術シイズを研究者自らがブースで説明を行い、研究者によるスタートアップ・セッションも開催されます。
※(大学等)とは、大学、研究大学、産学連携型大学、共同利用機関のことを指します。

JST・後援機関展示
 JSTが保有する特許技術、JSTの各種支援事業紹介、最新の特許情報などを展示します。また、本年は、初の特許相談を実施を行います。NEDOによる「スタートアップ支援 機関連携事業 (Plus)」申請相談を実施をはじめ、中小機構、INPITには相談が受けられる企業への相談・支援窓口の紹介などを行います。特許情報も知財活用に関する展示が行われます。来場者もぜひご覧ください。

併催事業
 「大学発ベンチャー表彰2024～Award for Academic Startups～」
 JSTは、2014年度よりNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)とともに、大学発ベンチャー企業を支援し、大学等の成果を活用して産業にスタートアップのうち、今後の成長が期待される優れた企業を表彰・支援する賞を創設しています。大学見本市の併催事業として両会場内セミナー会場において表彰式を開催すると共に、受賞企業によるピッチプレゼンテーションを行います。

大学見本市2024～イノベーション・ジャパン 開催概要 003

■会場マップ

MAP 会場マップ

大学等シイズ展示 5分野 281件

C カーボンニュートラル・環境 78件 **H** 健康・医療 107件
F 食料・農林水産 26件 **I** 情報通信 44件 **S** インフラ・安全・社会基盤 26件

004 大学見本市2024～イノベーション・ジャパン 会場マップ

■セミナー会場プログラム

大学見本市 2024
イノベーション・ジャパン

セミナー会場 プログラム

8/22 1日目		8/23 2日目	
セミナー会場	出展研究者 ショートプレゼンテーション 会場	セミナー会場	出展研究者 ショートプレゼンテーション 会場
10:00			
10:30			
11:00			
11:30	11:00~12:30 次世代超高密度磁気記録技術への挑戦 【材料開発と関連技術の最新動向】 ～CREST情報発表～	10:30~12:30 CRDS テクノロジ・システムソリューション Well-beingの推進 ～イノベーションの推進を支援～	11:00~16:00 出展研究者 ショート プレゼンテーション 会場 A カーボンニュートラル・環境 技術・材料開発 会場 B 先端・最先端 カーボンニュートラル・環境 技術・材料開発
12:00			
12:30	11:00~16:00 出展研究者 ショート プレゼンテーション 会場	13:30~14:30 産官学連携センター 工科大学連携・研習 産官学連携の推進活動による 大学側イノベーションの促進 ～産官学連携の推進を支援～	11:00~16:00 出展研究者 ショート プレゼンテーション 会場 A 先端・最先端 カーボンニュートラル・環境 技術・材料開発 会場 B 先端・最先端 カーボンニュートラル・環境 技術・材料開発
13:00			
13:30			
14:00	13:30~ 2024 Academic Startups 13:30~ ベンチャー表彰2024 第一部 表彰式 第二部 出展研究者ショートプレゼンテーション	13:30~14:30 産官学連携センター 工科大学連携・研習 産官学連携の推進活動による 大学側イノベーションの促進 ～産官学連携の推進を支援～	13:30~14:30 産官学連携センター 工科大学連携・研習 産官学連携の推進活動による 大学側イノベーションの促進 ～産官学連携の推進を支援～
14:30			
15:00			
15:30			
16:00			
16:30			
17:00			

タイトル・内容、日程等は一覧表、または申込となる場合があります。
大学見本市2024イノベーション・ジャパン セミナープログラム 005

大学見本市 2024
イノベーション・ジャパン

セミナー会場 プログラム

【JST事業セミナー・大学発ベンチャー表彰】

8/22 11:00~12:30 / 次世代超高密度磁気記録技術への挑戦 :材料開発と関連技術の最新動向～CREST情報発表～

JST「CREST」情報発表領域では、デバイス内での情報処理の鍵となる超微細構造に注目し、微細構造の特性を活用した高性能・高機能デバイスの創出、さらにはこれを集積化・システム化するにより社会実装可能な超高密度磁気記録装置の開発を目指す。
今回のセミナーでは、材料・材料開発 高機能電子デバイス「新しい研究チーム」、次世代超高密度磁気記録技術への挑戦:材料開発と関連技術の最新動向と題して研究開発について発表いただきます。

01 イントロダクション

JST「CREST」情報発表領域
CREST / さきがけの紹介

材料開発情報センター
情報開発推進部
グループ・イノベーショングループ

02 セミナー

CREST情報発表
領域の紹介

CREST情報発表
研究発表者

平本 俊郎
東京大学 工学部材料工学科 教授

3次元磁気記録に向けた
材料開発と関連技術

CREST情報発表
研究発表者

高橋 有紀子
東京大学 工学部材料工学科 准教授

高速化ダイナミクス測定
とその応用

CREST情報発表
研究発表者

佐々木 悠太
東京大学 工学部材料工学科 准教授

共同発表者: JST「CREST」情報発表領域 E-mail: crest@jst.go.jp

8/22 13:30~ / 大学発ベンチャー表彰2024

2024
Academic Startups

今年度11月発表される大学発ベンチャー表彰は、大学等の成果を活用して創業したベンチャーのうち、今後の発展が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰するものです。特別表彰ゾーンには、今年の「ノミネット」企業日誌が発表されます。22日(木)13:30~の表彰式にて、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞をはじめ、各賞の受賞者を発表します。表彰式後は受賞者によるピッチプレゼンを行います。

第一部 表彰式

01 開会挨拶 横本 和仁
02 受賞紹介
03 表彰式
04 閉会挨拶

第二部 プレゼンテーション

01 選考委員挨拶
02 受賞校ピッチプレゼンテーション

ノミネット企業 詳細はp.8へ
共同発表者: 大学発ベンチャー表彰事務局 E-mail: aas@jst.go.jp

006 大学見本市2024イノベーション・ジャパン セミナープログラム

■併催事業

大学見本市 2024
イノベーション・ジャパン

併催事業

【大学発ベンチャー表彰2024】

大学発ベンチャー表彰2024 / 8/22 13:30~ 東京ビッグサイト
会場: 1号館 101号ホール(大学発ベンチャー表彰2024) 101号ホール

2024
Academic Startups

「大学発ベンチャー表彰」Award for Academic Startups®は、今年度11月発表を予定しました。大学等の成果を活用して創業したベンチャーのうち、今後の発展が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。特別表彰ゾーンには、今年の「ノミネット」企業日誌が発表されます。22日(木)13:30~の表彰式にて、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞をはじめ、各賞の受賞者を発表します。表彰式後は受賞者によるピッチプレゼンを行います。

ノミネット企業 (100社)

<p>AWI</p> <p>AWI株式会社 代表取締役 北出 勇治</p>	<p>ECUMENOPOLIS</p> <p>電子材料の製造・加工・販売・サービス事業。 社会課題の解決に向けた取り組みを実施中。</p> <p>株式会社エキュメンポリス 代表取締役 山本 洋一</p>
<p>QuEL, Inc.</p> <p>量子コンピュータハードウェアの開発者である。 量子技術の普及を推進する。</p> <p>株式会社 クエール 代表取締役 伊藤 篤介</p>	<p>SONIRE</p> <p>超音波診断装置の開発・製造・販売。</p> <p>株式会社 ソニール 代表取締役 佐藤 隆</p>
<p>TOPLOGIC</p> <p>最先端のIoTデバイスを開発する。 社会課題の解決に向けた取り組みを実施中。</p> <p>株式会社 トップロジック 代表取締役 佐藤 隆</p>	<p>Tenigma</p> <p>最先端のIoTデバイスを開発する。 社会課題の解決に向けた取り組みを実施中。</p> <p>株式会社 テンギマ 代表取締役 佐藤 隆</p>
<p>PHBIO</p> <p>最先端のIoTデバイスを開発する。 社会課題の解決に向けた取り組みを実施中。</p> <p>株式会社 PHBIO 代表取締役 佐藤 隆</p>	<p>LM</p> <p>最先端のIoTデバイスを開発する。 社会課題の解決に向けた取り組みを実施中。</p> <p>株式会社 LM 代表取締役 佐藤 隆</p>

共同発表者: JST「大学発ベンチャー表彰2024」事務局 E-mail: aas@jst.go.jp

008 大学見本市2024イノベーション・ジャパン 併催事業「大学発ベンチャー表彰2024」

■出展研究者ショートプレゼンテーション

大学見本市 2024
イノベーション・ジャパン

出展研究者ショートプレゼンテーションプログラム

8/22 1日目 プレゼン会場 A

開始時刻	ブース	所属機関	代表研究者名	展示タイトル
▼ カーボンニュートラル・環境				
11:00	C-612	法政大学	橋本 麗人	高効率・低減コストで実現可能な有機LED照明の開発
11:00	C-674	鳥取大学	高橋 雅和	国内最先端への貢献を目指した下水処理用反応塔
11:14	C-644	北九州工業大学専門学校	山口 茂	環境負荷の少ない高性能な可伸縮性有機ELディスプレイの開発
11:24	C-663	富山県立大学	水野 素	サイズ依存特性を示す有機ナノ結晶を用いた高性能有機ELディスプレイ
11:32	C-641	信州大学	高橋 敏弘	高効率な有機LED照明の開発
11:40	C-618	長崎県立大学	佐藤 隆	未来への一歩: 最先端有機LED照明の開発
11:48	C-649	信州大学	佐藤 隆	最先端有機LED照明の開発
11:54	C-675	工業大学	坂本 研次	PM2.5除去率を高効率化する有機ナノ結晶を用いた高性能有機ELディスプレイ
12:04	C-640	熊本大学	河村 繁人	革新的なLED照明の開発
12:12	C-645	長崎県立大学	佐藤 隆	最先端有機LED照明の開発
12:20	C-672	法政大学	山本 健治	最先端有機LED照明の開発
12:28	C-687	山口大学	岡本 海明	最先端有機LED照明の開発
12:34	C-677	筑波大学	岡本 大樹	最先端有機LED照明の開発
12:44	C-633	自然科学研究機構材料科学研究所	谷本 洋行	最先端有機LED照明の開発
12:52	C-656	九州工業大学	吉田 真亮	最先端有機LED照明の開発
13:00	C-651	筑波大学	藤田 孝	最先端有機LED照明の開発
13:08	C-606	大阪立大学	高橋 和	最先端有機LED照明の開発
13:14	C-635	九州工業大学	宇佐美 敏生	最先端有機LED照明の開発
13:44	C-629	新潟県立大学	高橋 隆	最先端有機LED照明の開発
13:52	C-646	立命館大学	山根 大輔	最先端有機LED照明の開発
14:00	C-632	岡山大学	山口 大介	最先端有機LED照明の開発
▼ 食料・農林水産				
14:08	F-220	奈良先端科学技術大学院大学	和田 七子	最先端有機LED照明の開発
14:16	F-013	北里工業大学	佐藤 隆	最先端有機LED照明の開発
14:24	F-005	香川大学	下山 勇樹	最先端有機LED照明の開発
14:32	F-026	宮崎大学	山口 敏	最先端有機LED照明の開発
14:40	F-016	日本大学	佐藤 隆	最先端有機LED照明の開発
14:48	F-008	筑波大学	藤田 孝	最先端有機LED照明の開発
14:54	F-011	東海大学	清水 宗三	最先端有機LED照明の開発
15:04	F-012	香川大学	高橋 和	最先端有機LED照明の開発
15:12	F-009	岡山県立大学	伊藤 美	最先端有機LED照明の開発
▼ 情報通信				
15:20	I-016	神奈川工科大学	田中 博	最先端有機LED照明の開発
15:28	I-024	和歌山大学	高橋 和	最先端有機LED照明の開発
15:36	I-009	千葉大学	岡田 隆	最先端有機LED照明の開発
15:44	I-026	東京理科大学	高橋 和	最先端有機LED照明の開発
15:52	I-003	立命館大学	高橋 和	最先端有機LED照明の開発
16:00	I-005	筑波大学	藤田 孝	最先端有機LED照明の開発

共同発表者: 大学発ベンチャー表彰事務局 E-mail: aas@jst.go.jp

002 大学見本市2024イノベーション・ジャパン 出展研究者ショートプレゼンテーションプログラム

INDEX

大学等シーズ展示 出展大学別索引

Table listing exhibitors by university, including Hokkaido University, Tohoku University, Keio University, etc.

Table listing exhibitors by university, including Kansai University, Chiba University, etc.

■ 大学等シーズ展示一覧

九州大学 Carbon Neutral 環境. Exhibition booth for Carbon Neutral Environment.

九州大学 樹脂中で粒子を電氣的に並べる技術で放熱問題に挑む. Exhibition booth for resin-based particle alignment technology.

■ JST・後援機関展示

大学見本市 2024 JST・後援機関展示. Main header for JST and supporting organizations.

J-001 後援機関展示 中小企業基盤整備機構 (中小機構). Exhibition booth for SME Infrastructure Development Agency.

J-002 後援機関展示 新エネルギー・産業技術総合開発機構. Exhibition booth for New Energy and Industrial Technology Development Organization.

J-003 後援機関展示 特許庁. Exhibition booth for the Japan Patent Office.

J-004 後援機関展示 工業所有権情報・研修館 (INPIT) 知財活用支援センター. Exhibition booth for INPIT Intellectual Property Support Center.

九州大学 レーザー照射によるプラスチック上セラミックス膜形成・高機能化. Exhibition booth for laser-induced ceramic film formation on plastic.

九州大学 特許庁 オープンイノベーション促進のためのモデル契約書. Exhibition booth for Model Contract for Promoting Open Innovation.

J-004 後援機関展示 工業所有権情報・研修館 (INPIT) 知財活用支援センター. Exhibition booth for INPIT Intellectual Property Support Center.

J-004 後援機関展示 工業所有権情報・研修館 (INPIT) 知財活用支援センター. Exhibition booth for INPIT Intellectual Property Support Center.

会場MAP

表面

大学 Innovation Japan 2024 見本市
会場MAP
東京ビッグサイト
南展棟 南1ホール
入場無料
無観客観覧
8/22(木) 8/23(金)
[10:00~17:00]

JST・後援機関展示
JST 後援機関展示 (400) 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500

セミナー会場
8/22 11:00-12:30
8/23 10:30-12:30
8/23 13:30-14:30
8/23 15:00-16:00

出展研究者ショートプレゼンテーション
会場A・B 全144件
8/22 1日目
8/23 2日目

セミナー・併催事業 スケジュール
大学見本市 2024 セミナー会場
大学見本市2024セミナー会場での開催となります。タイトル・内容、参加費等は一律記載はせずとも記載がある場合があります。

8/22 11:00-12:30 次世代高機能電気駆動技術への挑戦
材料開発と製造技術の最新動向 -CRDS主催-
01 イノベーション 02 セミナー
JST CREST 高機能電気駆動技術の開発に向けた材料開発と製造技術の最新動向
01 イノベーション 02 セミナー
JST CREST 高機能電気駆動技術の開発に向けた材料開発と製造技術の最新動向

8/22 13:30~ 大学発ベンチャー表彰2024
01 表彰式 02 表彰式 03 表彰式 04 表彰式
05 表彰式 06 表彰式 07 表彰式 08 表彰式

8/23 10:30-12:30 テクノロジ・サステナビリティ、Well-beingの次進歩
01 イノベーション 02 セミナー
JST CREST テクノロジ・サステナビリティ、Well-beingの次進歩
01 イノベーション 02 セミナー
JST CREST テクノロジ・サステナビリティ、Well-beingの次進歩

8/23 13:30-14:30 知的財産の戦略的活用による大学発イノベーションの促進
01 イノベーション 02 セミナー
知的財産の戦略的活用による大学発イノベーションの促進
01 イノベーション 02 セミナー
知的財産の戦略的活用による大学発イノベーションの促進

8/23 15:00-16:00 自然に優しい未来を拓く
01 イノベーション 02 セミナー
自然に優しい未来を拓く
01 イノベーション 02 セミナー
自然に優しい未来を拓く

裏面

大学等シース展示 出展者一覧

シース番号	出展者名	担当氏名	担当氏所属	担当氏連絡先
0001	東京大学	山本 太郎	工学部	03-3812-1234
0002	京都大学	佐藤 花子	理学部	075-753-1234
0003	大阪大学	田中 健一	経済学部	06-6643-1234
0004	名古屋大学	鈴木 一郎	工学部	052-789-1234
0005	東北大学	高橋 美咲	医学部	022-271-1234
0006	北海道大学	伊藤 大輔	工学部	011-717-1234
0007	九州大学	渡辺 真由美	法学部	092-880-1234
0008	筑波大学	小林 誠	工学部	029-221-1234
0009	新潟大学	中村 翔太	工学部	025-271-1234
0010	金沢大学	山崎 由希	工学部	076-231-1234
0011	石川大学	佐々木 隆太	工学部	076-231-1234
0012	福井大学	木村 悠太	工学部	0776-231-1234
0013	岐阜大学	高木 悠太	工学部	057-231-1234
0014	静岡県立大学	田村 悠太	工学部	054-231-1234
0015	愛知県立大学	山本 悠太	工学部	052-231-1234
0016	徳島大学	佐藤 悠太	工学部	087-231-1234
0017	香川大学	田中 悠太	工学部	087-231-1234
0018	岡山大学	鈴木 悠太	工学部	086-231-1234
0019	広島大学	高橋 悠太	工学部	082-231-1234
0020	山口大学	伊藤 悠太	工学部	083-231-1234
0021	徳島大学	渡辺 悠太	工学部	087-231-1234
0022	香川大学	小林 悠太	工学部	087-231-1234
0023	岡山大学	中村 悠太	工学部	086-231-1234
0024	広島大学	山崎 悠太	工学部	082-231-1234
0025	山口大学	佐々木 悠太	工学部	083-231-1234
0026	徳島大学	木村 悠太	工学部	087-231-1234
0027	香川大学	高木 悠太	工学部	087-231-1234
0028	岡山大学	田村 悠太	工学部	086-231-1234
0029	広島大学	山本 悠太	工学部	082-231-1234
0030	山口大学	佐藤 悠太	工学部	083-231-1234
0031	徳島大学	田中 悠太	工学部	087-231-1234
0032	香川大学	鈴木 悠太	工学部	087-231-1234
0033	岡山大学	高橋 悠太	工学部	086-231-1234
0034	広島大学	伊藤 悠太	工学部	082-231-1234
0035	山口大学	渡辺 悠太	工学部	083-231-1234
0036	徳島大学	小林 悠太	工学部	087-231-1234
0037	香川大学	中村 悠太	工学部	087-231-1234
0038	岡山大学	山崎 悠太	工学部	086-231-1234
0039	広島大学	佐々木 悠太	工学部	082-231-1234
0040	山口大学	木村 悠太	工学部	083-231-1234
0041	徳島大学	高木 悠太	工学部	087-231-1234
0042	香川大学	田村 悠太	工学部	087-231-1234
0043	岡山大学	山本 悠太	工学部	086-231-1234
0044	広島大学	佐藤 悠太	工学部	082-231-1234
0045	山口大学	田中 悠太	工学部	083-231-1234
0046	徳島大学	鈴木 悠太	工学部	087-231-1234
0047	香川大学	高橋 悠太	工学部	087-231-1234
0048	岡山大学	伊藤 悠太	工学部	086-231-1234
0049	広島大学	渡辺 悠太	工学部	082-231-1234
0050	山口大学	小林 悠太	工学部	083-231-1234
0051	徳島大学	中村 悠太	工学部	087-231-1234
0052	香川大学	山崎 悠太	工学部	087-231-1234
0053	岡山大学	佐々木 悠太	工学部	086-231-1234
0054	広島大学	木村 悠太	工学部	082-231-1234
0055	山口大学	高木 悠太	工学部	083-231-1234
0056	徳島大学	田村 悠太	工学部	087-231-1234
0057	香川大学	山本 悠太	工学部	087-231-1234
0058	岡山大学	佐藤 悠太	工学部	086-231-1234
0059	広島大学	田中 悠太	工学部	082-231-1234
0060	山口大学	鈴木 悠太	工学部	083-231-1234
0061	徳島大学	高橋 悠太	工学部	087-231-1234
0062	香川大学	伊藤 悠太	工学部	087-231-1234
0063	岡山大学	渡辺 悠太	工学部	086-231-1234
0064	広島大学	小林 悠太	工学部	082-231-1234
0065	山口大学	中村 悠太	工学部	083-231-1234
0066	徳島大学	山崎 悠太	工学部	087-231-1234
0067	香川大学	佐々木 悠太	工学部	087-231-1234
0068	岡山大学	木村 悠太	工学部	086-231-1234
0069	広島大学	高木 悠太	工学部	082-231-1234
0070	山口大学	田村 悠太	工学部	083-231-1234
0071	徳島大学	山本 悠太	工学部	087-231-1234
0072	香川大学	佐藤 悠太	工学部	087-231-1234
0073	岡山大学	田中 悠太	工学部	086-231-1234
0074	広島大学	鈴木 悠太	工学部	082-231-1234
0075	山口大学	高橋 悠太	工学部	083-231-1234
0076	徳島大学	伊藤 悠太	工学部	087-231-1234
0077	香川大学	渡辺 悠太	工学部	087-231-1234
0078	岡山大学	小林 悠太	工学部	086-231-1234
0079	広島大学	中村 悠太	工学部	082-231-1234
0080	山口大学	山崎 悠太	工学部	083-231-1234
0081	徳島大学	佐々木 悠太	工学部	087-231-1234
0082	香川大学	木村 悠太	工学部	087-231-1234
0083	岡山大学	高木 悠太	工学部	086-231-1234
0084	広島大学	田村 悠太	工学部	082-231-1234
0085	山口大学	山本 悠太	工学部	083-231-1234
0086	徳島大学	佐藤 悠太	工学部	087-231-1234
0087	香川大学	田中 悠太	工学部	087-231-1234
0088	岡山大学	鈴木 悠太	工学部	086-231-1234
0089	広島大学	高橋 悠太	工学部	082-231-1234
0090	山口大学	伊藤 悠太	工学部	083-231-1234
0091	徳島大学	渡辺 悠太	工学部	087-231-1234
0092	香川大学	小林 悠太	工学部	087-231-1234
0093	岡山大学	中村 悠太	工学部	086-231-1234
0094	広島大学	山崎 悠太	工学部	082-231-1234
0095	山口大学	佐々木 悠太	工学部	083-231-1234
0096	徳島大学	木村 悠太	工学部	087-231-1234
0097	香川大学	高木 悠太	工学部	087-231-1234
0098	岡山大学	田村 悠太	工学部	086-231-1234
0099	広島大学	山本 悠太	工学部	082-231-1234
0100	山口大学	佐藤 悠太	工学部	083-231-1234

※サイズ：プランケット判 (406mm×545mm)

■AASリーフレット

表面

2024 Award for Academic Startups

大学発ベンチャー表彰 2024

開催日 2024/8/22(木)

会場 東京ビッグサイト 南1ホール
大学見本市2024内 セミナー会場

時間 13:30~

表彰式式次第
Award for Academic Startups

第一部 時間 / 13:30~

01 開会挨拶 国立研究開発法人 橋本 和仁

02 来賓紹介

03 表彰式 **各賞発表 / 賞状・賞状授与**

文部科学大臣賞	経済産業大臣賞
科学技術振興機構理事長賞	新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞
日本ベンチャー学会会長賞	アーリーエッジ賞
大学発ベンチャー表彰特別賞	

04 閉会挨拶 新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長 齋藤 保

第二部 時間 / 16:00~

01 選考委員長評 大学発ベンチャー選考委員長 野島 潤二

02 受賞社ピッチプレゼンテーション

2024 Award for Academic Startups

大学発ベンチャー表彰

Award for Academic Startups

2024

「大学発ベンチャー表彰」は、今年で**11**年目を迎えました。

大学等[※]の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。

※ 文部科学省、経済産業省、科学技術振興機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構、2024年度見本市、国立研究開発法人

お問い合わせ先 国立研究開発法人科学技術振興機構 大学発ベンチャー表彰事務局 E-mail: aas@jst.go.jp

大学発ベンチャー表彰公式サイト https://www.jst.go.jp/aas/

主催 **JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構** **NEDO 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構**

※ 文部科学省 経済産業省 日本ベンチャー学会 全国地方新聞社連合会

中面

ノミネート企業 (50社/制作)

映像評価のAI技術開発とエッジAIカメラソリューションの提供

AWL株式会社
代表取締役兼CEO 北出 宗治

映像評価のAI技術開発とエッジAIカメラソリューションの提供

教育や仕事の現場に会話AIエージェントを導入し、社会全体の創造性や生産性の向上を実現する

EGUMENOPOLIS株式会社
代表取締役 松山 洋一

教育や仕事の現場に会話AIエージェントを導入し、社会全体の創造性や生産性の向上を実現する

新素材であるトポロジカル物質を用いた新しい半導体デバイス、量子デバイスの開発事業

TOPOLOGIC株式会社
代表取締役 佐藤 太紀

新素材であるトポロジカル物質を用いた新しい半導体デバイス、量子デバイスの開発事業

癌の再生治療薬の研究開発

トレジウムバイオファーマ株式会社
代表取締役 高早 ほか

癌の再生治療薬の研究開発

量子コンピュータのハードウェアの一部である、制御装置の開発・製造・販売

QuEL, Inc. キュエル株式会社
代表取締役 伊藤 陽介

量子コンピュータのハードウェアの一部である、制御装置の開発・製造・販売

癌がもたらめる痛ががんに対する新たな治療モダリティとして次世代薬業経営治療装置を開発

SONIRE THERAPEUTICS株式会社
代表取締役 佐藤 亨

癌がもたらめる痛ががんに対する新たな治療モダリティとして次世代薬業経営治療装置を開発

現在「食のバリエーションを実現するアレルギー低減剤の社会実装」に注力中

P+Bio プラチナバイオ株式会社
代表取締役 奥原 啓輔

現在「食のバリエーションを実現するアレルギー低減剤の社会実装」に注力中

革新的「見えにくい」治療薬の事業化による「難治性がん克服」への挑戦

LINKMED株式会社
代表取締役 吉井 幸恵

革新的「見えにくい」治療薬の事業化による「難治性がん克服」への挑戦

開会宣言



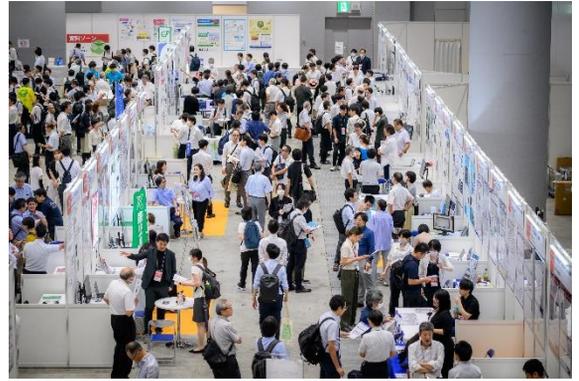
総合受付



入口看板、通路看板



会場全景



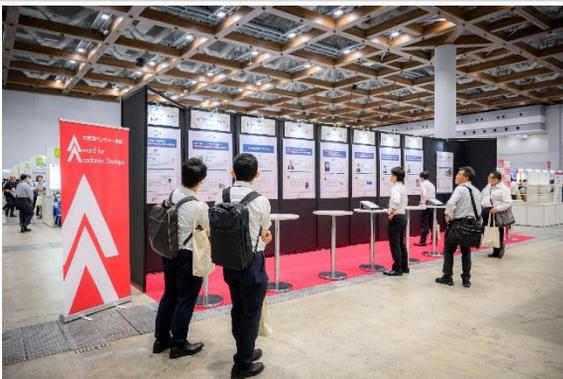
大学等シーズ展示



JST・後援機関展示



AAS展示ゾーン



出展研究者ショートプレゼンテーション会場



8月22日併催事業「大学発ベンチャー表彰2024」



8月22日 CRESTセミナー



8月23日 研究開発戦略センター（CRDS）セミナー



8月23日 後援機関 特別セミナー



8月23日 知財活用支援事業セミナー



インフォメーション（会場内）



全国大学等シーズ情報ゾーン



資料ゾーン



アンケート回収コーナー



休憩スペース



来場者ワーキングスペース

